

地域指定年度	昭和 44 年度
計画策定年度	昭和 45 年度
計画見直し年度	昭和 49 年度
	昭和 55 年度
	昭和 60 年度
	平成 11 年度
	平成 17 年度
	平成 27 年度
	令和 6 年度
市コード	208

# 角田農業振興地域整備計画書(案)

令和 6 年 10 月  
(令和8年 月一部変更)

宮 城 県 角 田 市



## 目 次

第1 農用地利用計画	1
1 土地利用区分の方向	1
(1) 土地利用の方向	1
ア 土地利用の構想	1
イ 農用地区域の設定方針	2
(2) 農業上の土地利用の方向	3
ア 農用地等利用の方針	3
イ 用途区分の構想	5
2 農用地利用計画	6
第2 農業生産基盤の整備開発計画	7
1 農業生産基盤の整備及び開発の方向	7
2 農業生産基盤整備開発計画	9
3 森林の整備その他林業の振興との関連	10
4 他事業との関連	10
第3 農用地等の保全計画	11
1 農用地等の保全の方向	11
2 農用地等保全整備計画	11
3 農用地等の保全のための活動	11
4 森林の整備その他林業の振興との関連	11
第4 農業経営の規模の拡大及び農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の促進 計画	12
1 農業経営の規模の拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する誘導方 向	12
(1) 効率的かつ安定的な農業経営の目標	12
(2) 農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用に関する誘導方向	19
2 農業経営の規模の拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用の促進を図るため の方策	19
(1) 基本方針	19
(2) 重点的に推進しようとする方策	19
3 森林の整備その他林業の振興との関連	20

第5 農業近代化施設の整備計画	21
1 農業近代化施設の整備の方向	21
2 農業近代化施設整備計画	21
3 森林の整備その他林業の振興との関連	21
第6 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備計画	22
1 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備の方向及び農業を担うべき者のための支援の活動	22
2 農業就業者育成・確保施設整備計画	22
3 森林の整備その他林業の振興との関連	22
第7 農業従事者の安定的な就業の促進計画	23
1 農業従事者の安定的な就業の促進の目標	23
2 農業従事者の安定的な就業の促進を図るための方策	23
3 農業従事者就業促進施設	23
4 森林の整備その他林業の振興との関連	23
第8 生活環境施設の整備計画	24
1 生活環境施設の整備の目標	24
2 生活環境施設整備計画	24
3 森林の整備その他林業の振興との関連	25
4 その他の施設の整備に係る事業との関連	25
第9 付図	別添
1 土地利用計画図（付図1号）	
2 農業生産基盤整備開発計画図（付図2号）	
3 農用地等保全整備計画図（付図2号）	
4 生活環境施設整備計画図（付図2号）	

#### 別記 農用地利用計画

- (1) 農用地区域
  - ア 現況農用地等に係る農用地区域

## 第1 農用地利用計画

### 1 土地利用区分の方向

#### (1) 土地利用の方向

##### ア 土地利用の構想

宮城県の南端に位置する本地域は、広大な農用地と工業用地を有し豊かな自然環境に恵まれた地域である。

地形は、阿武隈川が本地域の中央東寄りを南北に貫流し、東側に阿武隈山地、西側は丘陵性の山地で、阿武隈川の両側にひらけた平坦の土地が主体となって両側の山地に連なっている。

本地域の総面積は 14,753ha で、利用形態別にみると都市計画の用途指定地面積が 911.4ha (6.2%) で、農業振興地域については、10,248.5ha (69.5%) を設定し、その利用を図っている。

土地は、生活と生産の諸活動に共通した基盤として有効な活用を図る必要があり、土地の適切な利用は住み良い快適な都市環境をつくり、産業振興を図るための根幹である。現在、この土地の有効利用により本地域は 27,976 人（令和 2 年国勢調査）の人口を有し、産業総生産額は 145,315 百万円（令和 2 年度市町村民経済計算）をあげ、産業別構造も農商工一体の均衡あるものとなっているほか、林野面積は 5,612ha（令和 4 年度版みやぎの森林・林業のすがた）を有している。

このような現状のもとに今後の土地利用は、角田市第 6 次長期総合計画（令和 4 年 3 月策定。以下「長期総合計画」という。）の角田市の都市像を踏まえ、角田市環境基本計画や角田市森林整備計画、角田市都市計画マスターplan 等の各種計画との整合を図りながら推進する。また、見直しにあたっては、里山等の自然環境に配慮しつつ、交通インフラの整備に対応した市街地形成と農業基盤の整備を志向し、本地域の均衡ある発展と地域全体の有効な土地利用を推進する。

さらには、農用地の集積、確保とその利用促進に資するため、土地基盤整備等の国、県の各種支援制度を活用し、法人化による集落営農を含めた認定農業者等の地域の担い手農家へ農地の集積を図る一方、多様な農業就労者の確保に努め農業経営の維持とその発展を図りながら、逐次、将来の交通インフラや他産業の振興との調整を進め、農用地利用の方向性を調査、検討していく。

令和 14 年次（目標）における土地利用計画は表（P2）に示すとおりであるが、農用地においては 4,799ha を利用し、現在の農用地から約 13ha 減少、宅地については約 4ha の増加が見込まれている。また、角田市の将来の人口が令和 12 年には 25,142 人（長期総合計画）と推計されている。

単位 : ha, %

区分 年次	農用地		農業用施設用地		森林・原野		住宅地		工場用地		その他		計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
現在 (4年)	4,812	32.6	54	0.4	5,612	38.0	831	5.6	70	0.5	3,374	22.9	14,753	100.0
目標 (14年)	4,799	32.5	58	0.4	5,603	38.0	835	5.7	75	0.5	3,383	22.9	14,753	100.0
増減	△13		4		△9		4		5		9		—	

#### イ 農用地区域の設定方針

##### (ア) 現況農用地についての農用地区域の設定方針

本地域内にある現況農用地 4,812ha のうち、下記の **a** から **c** に該当する農用地（農地＋採草放牧地）について、農用地区域を設定する方針である。

###### **a** 集団的に存在する農用地

10ha 以上の集団的な農用地

###### **b** 土地改良事業又はこれに準ずる事業（防災事業を除く。）の施行に係る区域内にある土地

###### **c** **a** 及び **b** 以外の土地で、農業振興地域における地域の特性に即した農業の振興を図るため、その土地の農業上の利用を確保することが必要である土地 ただし、**c** の土地であっても、次の土地については農用地区域には含めない。

###### (a) 集落区域内（連接集合して存在する住宅、農業用施設、商店、工場等の施設の敷地の外縁を結んだ線内の区域）に介在する農用地

###### (b) 自然的な条件等からみて、農業の近代化を図ることが相当でないと認められる農用地

###### (c) 中心集落の整備（中小企業の誘致、住宅の建設等）に伴って拡張の対象となる関連集落周辺農用地

##### (イ) 土地改良施設等の用に供される土地についての農用地区域の設定方針

本地域内にある土地改良施設用地のうち、(ア) において農用地区域を設定する方針とした現況農用地に介在または隣接するものであって、該当農用地と一体的に保全する必要があるものについて、農用地区域を設定する方針である。

#### （ウ）現況農業用施設用地についての農用地区域の設定方針

本地域内にある農業用施設用地のうち、（ア）において農用地区域を設定する方針とした現況農用地に介在又は隣接するものであって当該農用地と一体的に保全する必要があるものについて、農用地区域に設定する方針である。

#### （エ）現況森林、原野等についての農用地区域の設定方針

現況森林、原野等で農用地区域に設定されている 342 ha については、農地（採草放牧地）としての整備を推進する。

### （2）農業上の土地利用の方向

#### ア 農用地等利用の方針

本地域における農用地区域内の農用地等の利用の現況をみると、総面積が 3,498 ha でそのうち、農地が 3,432 ha (98.1%)、採草放牧地が 53 ha (1.5%) である。また、農業用施設用地は 13 ha (0.4%) となっている。

農地の利用形態別では、田が 3,081 ha、畠が 203 ha、樹園地が 148 ha であり、田の面積が総面積の 88%を占め、田の利用が本地域の基盤となっている。

将来は、342 ha の農用地指定している森林・原野については、効率的で有効な利用を第一とし、他の土地利用との調和を保ちつつ、農業生産の増大が図られるよう、優良農地として保全に努める。

農業用施設用地は、現況より 3 ha 増加の 16 ha としてその利用を図る。

地域区分については、地形的な理由から阿武隈川の東側を A（隈東）地区、西側を B（隈西）地区に区分する。

単位 : ha

区分 地区名	農 地			採草放牧地			混牧林地		
	現況	将来	増減	現況	将来	増減	現況	将来	増減
A (隈東)	1,090	1,087	△3	4	4	—	—	—	—
B (隈西)	2,342	2,337	△5	49	49	—	—	—	—
計	3,432	3,424	△8	53	53	—	—	—	—

単位 : ha

区分 地区名	農業用施設用地			計			森林・原野等
	現況	将来	増減	現況	将来	増減	現況
A (隈東)	5	6	1	1,099	1,097	△2	138
B (隈西)	8	10	2	2,399	2,396	△3	204
計	13	16	3	3,498	3,493	△5	342

## イ 用途区分の構想

### (ア) A-1 地区<枝野・藤尾>

A-1 地区は、阿武隈川東部の上流に位置し、横堀水系、桜井川水系、半田川水系、庄司堀水系から成り、かつては、水田と養蚕の桑園がほとんどであったが、生糸の価格低落以降、養蚕業は衰退し、現在は養蚕から脱却し、水田と大豆、ブロッコリー等の露地野菜、トマト、いちご等の施設園芸への転換が進んでいる。

また、令和 3 年 9 月からみやぎ仙南農業協同組合（以下「JA みやぎ仙南」という。）が穀類乾燥調製貯蔵施設（カントリーエレベーター）を稼働したことにより、稲作の担い手の作業負担軽減が期待される。

阿武隈山地に連なる丘陵地帯については、畜産業の農家が点在しており、平成 19 年度から角田市農業の館（たい肥センター）が稼動しており、耕畜連携の推進を図るとともに、今後も施設の整備に努め、さらに飼料用作物の生産の拡大を図る。

### (イ) A-2 地区<東根（西小坂を除く）>

A-2 地区は、阿武隈川東部の下流に位置し、千海田水系、平貫堀水系、鳩原堀水系から成り、傾斜度が平均 50 分の 1 程度であり、全域にわたってほ場整備が進んでいる。

特に、阿武隈側右岸堤防沿いは砂質土壤で排水もよく、長いも、ゴボウ等の根菜類の栽培が盛んである。山間部においては、肉牛等の畜産やりんご等の果樹栽培が行われている。

今後は、立地条件を生かした根菜類栽培の機械化を進めるとともに、転作の推進と大規模な畠作の推進を進める。

### (ウ) B-1 地区<小田>

B-1 地区は、阿武隈川西部の小田川水系地区で、平地にはかつての沼を開拓した水田地帯が広がっている。現在、大部分が 10 a の小区画であり、ほ場整備による大区画化が必要な地域でもある。そのほか、小田川上流の山間部は酪農等が盛んであり、そのための採草放牧地も広がっている。また、小田川下流右岸では市街地に近いということもあり、近年は住宅の混在化も進んできているが、ツルムラサキ、ブロッコリー等の園芸作物の生産も盛んである。

#### (エ) B-2 地区<角田・桜・北郷・西根>

B-2 地区は、阿武隈川西部の尾袋川水系及びその支流の豊室川流域、高倉川水系及び内川水系から成り、小田川水系を除く阿武隈川西部のほとんどを占めている。大部分は平地で、近年、ほ場の大区画化に向けた再編が進んでいる。大区画ほ場整備中の尾袋川東地区では、たまねぎや馬鈴薯等の露地野菜の作付けを計画している。高田萱場地区では、土地利用型作物である大豆のほか、たまねぎや枝豆等の露地野菜の作付けの計画を立て、園芸作物の振興を図る。

水田に特化している農家も少なからず存在する一方、豊室地区のように日本なしの果樹団地が形成されている地帯では、果樹に特化している農家も多く、一部では梅干加工等の加工食品への取組も行われている。

高倉川の上流では肉用牛の飼養に特化している農家が多いなど、色分けがはつきりしているところがある。また、山間部の4地区の住民組織が、中山間地域等直接支払交付金を活用し、農業振興と地域づくりの活性化に取り組んでいる。

今後は、地域の特性を生かし、A 地区同様根菜類等の機械化栽培を進めつつ、また、畜産から出るたい肥の有効利用や、「米・豆・梅」等を生かした加工製品の開発促進(6次産業化)、販売の提携等によりさらなる個々の規模拡大が期待される地域もある。

#### (オ) B-3 地区<西小坂>

B-3 地区は、阿武隈川の下流左岸にある新堀水系に属する農用地地帯で、阿武隈川左岸堤防に沿った地帯の土壤は野菜の栽培に適しており、その利用を進める。田の地帯は、隣接する柴田町の住宅地に近いこともあり、畠への転換を進め、都市近郊畠作地帯への転換が図られている。

## 2 農用地利用計画

別記のとおりとする。

## 第2 農業生産基盤の整備開発計画

### 1 農業生産基盤の整備及び開発の方向

本地域の農業振興地域の農地は 4,734 ha であり、うち約 600 ha (13%) は山間地の傾斜度が 10 分の 1 から 50 分の 1 であるが、これ以外の農用地は阿武隈川沿岸の平坦な農地である。

本地域の農業生産基盤整備状況について、田 3,009 ha (84%) (令和 4 年度仙南地域の概要) が整備済である。これらの区域のかんがい事業のうち、河川水利用区域 2,774 ha については、揚水機、用水路断面等の施設の維持について検討を行い、今後も継続して実施していく。また、ため池利用地区は 488 ha であるが、河川水利用の増大により減少傾向にある。今後、溜池は水田かんがいの補給的役割を果たす程度になるが、防災上不可欠なため、継続して整備を行う。

排水事業については、ほ場整備の推進とともに「暗渠排水の整備」がされてきた。また、隈西地区は国営かんがい排水事業によって、かつての湛水被害の改善が図られてきたが、一部地域では、大雨の時などは流量が排水量を超してしまうことがあり、その後も排水が抜けにくいことがある。水田畑作を推進している上でも、今後は水田の汎用化を図るための流量を確保する排水路の整備が急務であり、かつ、排水機場の機能強化を図ることが求められる。令和元年東日本台風による記録的な豪雨により、本市は、いまだかつて経験したことのない災害が発生した。今後の浸水被害の軽減を図るため、新たに機能強化した排水機場を尾袋川の下流域に整備するとともに、小田川の下流域に新たに排水機場を整備することが計画されている。

流域治水対策のひとつとして、令和 6 年度より田んぼダムに取り組んでおり、枝野地区の水田 84 ha に実施している。今後も、集中豪雨や台風などによる洪水被害を軽減するため、水田の持つ雨水貯留機能を活用した取り組みを推進していく。

ほ場整備事業については、現在の整備率は 84% である。従来は 10 a 区画を 30 a 区画にする再区画がほとんどであったが、近年、50 a 以上の大区画整理が 244 ha まで整備されるに至っている。

農道整備事業についてもほ場整備事業と平行して整備され、高速自動車道とのアクセスが図られており、走行車両の増加やスピード化への対応が期待される。

集落排水事業については、集落内の生活環境及び集落周辺に介在する農用地の生産環境を確保するため、集落下水道が高倉地区及び金津地区で供用されている。また、集落内排水路の整備も積極的に進めることとする。

## ア A (隈東) 地区

農用地区域内の農地面積 1,090 ha (P4 参照) のうち田は、昭和 34 年以降、積寒事業、農業構造改善事業、小規模・非補助土地改良事業等により、かんがい排水やほ場整備が進められてきた。

ほ場整備事業としては、平成 10 年度よりほ場の再整備の取組として枝野地区担い手整備事業が実施され、1 ha 区画を基本とするほ場整備が完了している。

この他、基盤整備に準じる農道・暗渠排水・客土を基幹とした総合整備事業が平成 9 年度から平成 15 年度にかけて藤尾地区で実施された。

ため池は、令和 4 年度から県営・農村地域防災減災事業により、内町ため池の改修工事が実施されている。

排水機場については、県営農業水利施設整備事業により、平成 26 年度から中谷地及び沼尻排水機場の長寿命化のための整備・補修が実施されている。

## イ B (隈西) 地区

農用地区域内の農地面積 2,342 ha (P4 参照) については、平坦部農地に限らず山間部農地についても様々な土地基盤整備を行い、農業の効率化を図ってきた。

ほ場整備事業については、昭和 48 年度から県営ほ場整備事業 (A=1,167 ha) が実施されており、平成 5 年度から平成 14 年度まで 1ha 区画の担い手基盤整備事業が毛萱の 3 地区において実施された。また、令和 3 年度から尾袋川東地区、令和 5 年度から高田萱場地区でほ場整備事業が開始され、自動給水栓を設置するなど、スマート農業の推進に取り組んでいる。このほか、小規模団地対策として暗渠排水事業を君萱、左関、呑内前、大在家で計画されている。

かんがい排水事業としては、国営かんがい排水事業が平成 7 年度に完了した。現在は、県営・農業水利施設整備事業として桜揚水機場が平成 30 年度より長寿命化の整備・補修を実施されており、令和 5 年度に笠島揚水機場の機能診断や機能保全計画を策定し、長寿命化の整備・補修を予定しているほか、新小金沢揚水機場・鱸沼揚水機場・小田かんがい排水事業を予定している。

農道整備については、広域農道の仙南東部道路 (L=11,460 m) の整備が完了しており、東北縦貫自動車道へのアクセス道路として利用されている。

## 2 農業生産基盤整備開発計画

事業の種類	事業の概要	受益の範囲		対図番号	備考
		受益地区	受益面積(ha)		
① かんがい排水事業 【排水改良】	小田 かんがい排水事業 排水路整備 L=3,000m (R12~ )	B1 の一部	400	1	
② ほ場整備事業	呑内前 区画整理暗渠排水 A=14ha (R16~ )	B2 の一部	14	2	
	君萱 1 区画整理暗渠排水 A=6ha (R16~ )	B2 の一部	6	3	
	君萱 2 区画整理暗渠排水 A=8ha (R16~ )	B2 の一部	8	4	
	左関 区画整理暗渠排水 A=9ha (R16~ )	B2 の一部	9	5	
	大在家 区画整理暗渠排水 A=9ha (R16~ )	B2 の一部	9	6	
	小田 農地整備事業 区画整理 A=72ha (R14~ )	B1 の一部	72	7	
	高田萱場 農地整備事業 区画整理 A=37ha (R5~ )	B2 の一部	37	8	
	大沼 農地整備事業 区画整理 A=47ha (R14~ )	B1 の一部	47	9	
	佐倉 2 期 農地整備事業 区画整理 A=20ha (R16~ )	B1 の一部	20	10	
	大原 農地整備事業 区画整理 A=28ha (R14~ )	B1 の一部	28	11	

	北郷第1 農地整備事業 区画整理 A=165ha (R16~ )	B1 の一部	165	12	
③ 基幹整備事業	枝野 県農業水利施設整備事業 水利施設整備事業 (基幹水利施設保全型) 中谷地・沼尻排水機場 1式 (H 26~ )	A1 の一部	1,542	13	
	桜 県農業水利施設整備事業 水利施設等保全高度化事業 桜揚水機場 1式 (H30~ )	B2 の一部	875	14	

資料：農林振興課農林土木係（令和5年度）

### 3 森林の整備その他林業の振興との関連

林道等の整備については、適切な森林施業と森林管理を進める基盤となるだけでなく、日常の社会活動と一体になり、健全な山村づくりに寄与するところが大きい。

これまでも林道等については、集落間を結ぶ市道農道と関連をもって整備してきたが、今後もその整備拡充に努め、地域住民の生活向上、林業生産活動の活発化を促進する。

### 4 他事業との関連

県道の整備については、坂津田・藤田地区で丸森柴田線の改良工事を施工中である。

### 第3 農用地等の保全計画

#### 1 農用地等の保全の方向

ほ場整備事業、ため池整備事業などにより基盤整備の促進・排水機能の強化を図るとともに、農地の集団化を促進し、優良農用地等の保全を図る。

#### 2 農用地等保全整備計画

事業の種類	事業の概要	受 益 の 範 囲		対図 番号	備考
		受益地区	受益面積		
県営・農村地域 防災減災事業	内町上ため池整備	内 町	72.9ha	15	R4～R7
	内町下ため池整備				R4～R7

資料：農林振興課農林土木係（令和5年度）

#### 3 農用地等の保全のための活動

ため池や用水施設など農業用施設は、自然的、環境的状況の変化で脆弱化が進むため、これらの施設の整備補強を行い、農業経営の近代化や意欲のある担い手の育成、創意ある営農集団の育成を図り、農用地等の保全に努める。

#### 4 森林の整備その他林業の振興との関連

森林の整備にあたっては、適切な森林整備の効率的な実施と公益的、多面的な機能の総合的な発揮を図るため、森林経営管理制度を活用しながら、適正な森林施業の実施により、健全な森林保全の維持を推進することとする。

林道については、効率的な森林施業、森林の適正な管理運営及び農山村地域の振興にも資するよう計画的な整備と維持を推進することとする。

## 第4 農業経営の規模の拡大及び農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の促進計画

### 1 農業経営の規模の拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用に関する誘導方向

#### （1）効率的かつ安定的な農業経営の目標

営農類型は、本地域の立地条件を十分生かした重点作物の振興と、農業経営基盤強化法に基づく角田市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（以下「基本構想」という。）（令和5年9月一部改正）によるものとする。本市が認定農業者を認定し、将来に向けての展望を設定する。

この類型によって確保する所得及び年間労働時間の目標は、450万円及び2,000時間程度以内とし、その実現のため認定農業者190経営体を育成し、さらに上積みを目指す。そして将来は地域計画を活用し、担い手により全農地のおおむね9割を目標とし集積するよう誘導する（基本構想による。）。

このように本地域の農業を支える大きな柱として認定農業者を位置づけており、平成8年に角田市農業経営改善支援センターを設置し農業者の経営改善に関する相談や農業経営改善計画認定申請書の作成支援等を行っている。また、角田地域担い手育成総合支援協議会（平成17年設立）、JAみやぎ仙南、宮城県農業改良普及センターが連携し、パソコンの複式簿記の習得のための研究会（現（角田市農業青色申告会））を設立して、農業パソコン簿記の導入、操作講習会や研修会等を開催するなど、担い手農家（認定農業者等）の経営管理面の支援も行っている。

【規模拡大営農類型】

○土地利用型作物

△	営農類型	目標規模	作目構成
【個別経営】	水稻 + 大豆	15.0ha	主食用米（移植） 10.0 ha 大豆 5.0 ha
【法人経営】	水稻 + 小麦 + 大豆	60.0ha	主食用米（移植） 20.0 ha 主食用米（乾田直播） 20.0 ha 大豆（麦後晚播） 20.0 ha 小麦 20.0 ha  小麦・大豆は二毛作
【法人経営】	水稻 + 小麦 + 大豆	120.0 ha	主食用米（移植） 40.0 ha 主食用米（乾田直播） 40.0 ha 飼料用米（乾田直播） 10.0 ha 大豆（標播） 10.0 ha 大豆（麦後晚播） 20.0 ha 小麦 20.0 ha 大豆（作業受託） 30.0 ha  小麦・大豆は二毛作

○露地野菜

△	営農類型	目標規模	作目構成
【個別経営】	長ねぎ + 水稻	10.0 ha	水稻 8.0 ha 長ねぎ 2.0 ha
【個別経営】	ブロッコリー + 水稻	10.0 ha	水稻 8.0 ha ブロッコリー 2.0 ha
【個別経営】	たまねぎ + 水稻	10.0 ha	水稻 8.0 ha たまねぎ 2.0 ha

	営農類型	目標規模	作目構成
【法人経営】	長ねぎ + 水稻 + 大豆	60.0 ha	水稻 40.0 ha 大豆 10.0 ha 長ねぎ 10.0 ha
【法人経営】	キャベツ + 水稻 + 大豆	60.0 ha	水稻 40.0 ha 大豆 10.0 ha キャベツ 10.0 ha
【法人経営】	たまねぎ + 水稻 + 大豆	60.0 ha	水稻 40.0 ha 大豆 10.0 ha たまねぎ 10.0 ha
【法人経営】	えだまめ + 水稻 + 大豆	60.0 ha	水稻 40.0 ha 大豆 10.0 ha えだまめ 10.0 ha
【法人経営】	加工用 ばれいしょ + 水稻 + 大豆	60.0 ha	水稻 40.0 ha 大豆 10.0 ha 加工用ばれいしょ 10.0 ha

○施設野菜

	営農類型	目標規模	作目構成
【個別経営】	いちご + 水稻	2.3 ha	いちご 鉄骨ハウス 3,000 m <sup>2</sup> 水稻 2.0 ha
【個別経営】	トマト + 水稻	2.3 ha	トマト 高軒高ハウス 3,000 m <sup>2</sup> 水稻 2.0 ha
【個別経営】	きゅうり + 水稻	2.3ha	きゅうり 鉄骨ハウス 3,000 m <sup>2</sup> 水稻 2.0 ha
【個別経営】	ほうれんそう + 水稻	10.0 ha	ほうれんそう パイプハウス 10,000 m <sup>2</sup> 水稻 9.0 ha
【個別経営】	いちご	1.0 ha	いちご 鉄骨ハウス 10,000 m <sup>2</sup>
【法人経営】	トマト	1.0 ha	トマト 高軒高ハウス 10,000 m <sup>2</sup>
【法人経営】	きゅうり	1.0 ha	きゅうり 鉄骨ハウス 10,000 m <sup>2</sup>

○花き

	営農類型	目標規模	作目構成
【個別経営】	スプレーぎく	0.4 ha	スプレーぎく 4,000 m <sup>2</sup> 鉄骨ハウス (年2作) シェード 4,000 m <sup>2</sup> (8月) 電照 4,000 m <sup>2</sup> (12月)
【個別経営】	輪ぎく + 小ぎく	0.9 ha	輪ぎく パイプハウス 3,500 m <sup>2</sup> 小ぎく (露地) 5,000 m <sup>2</sup>
【個別経営】	カーネーション	0.4 ha	カーネーション 鉄骨ハウス 4,000 m <sup>2</sup>
【個別経営】	トルコギキョウ + ストック	0.3 ha	トルコギキョウ パイプハウス 2,500 m <sup>2</sup> ストック 2,500 m <sup>2</sup>
【個別経営】	シクラメン + 花壇苗	0.2 ha	シクラメン 鉄骨ハウス 2,000 m <sup>2</sup> 花壇苗 鉄骨ハウス 2,000 m <sup>2</sup>
【個別経営】	露地ぎく + 水稻	8.0 ha	水稻 7.0 ha 露地ぎく 1.0 ha

○果樹

	営農類型	目標規模	作目構成
【個別経営】	りんご	1.5 ha	わい化栽培 1.0 ha ジョイント栽培 0.5 ha
【個別経営】	日本なし	2.6 ha	日本なし 2.6 ha
【個別経営】	ぶどう	0.8 ha	ぶどう 0.8 ha

○畜産

	営農類型	目標規模	作目構成
【個別経営】	酪農	50頭 10.0 ha	経産牛 50頭飼養 飼養生産面積 10.0 ha
【個別経営】	肉用牛 (肥育)	150頭	飼養頭数 150頭 (去勢牛) 年間肥育牛出荷頭数 93頭
【個別経営】	肉用牛 (繁殖)	30頭 10.0 ha	飼育頭数 30頭 (経産牛) 飼料生産面積 10.0 ha 年間子牛出荷頭数 24頭
【個別経営】	養豚 (一貫)	100頭	飼育頭数 100頭 母豚 1頭あたり 年間出荷頭数 20.4頭

○特用林産物

	當農類型	目標規模	作目構成
【個別經營】	しいたけ (原木栽培) + 水稻	原木・1万本 7.0 ha	経営規模 10,000 本 水稻 7.0 ha
【個別經營】	しいたけ (菌床栽培)	菌床 168 千床	経営規模 168,000 床 672 床から年 250 日収穫

○組織經營体

當農類型	目標規模	作目構成
水稻 + 小麦 + 大豆	60.0 ha	主食用米 (移植) 20.0 ha 主食用米 (乾田直播) 20.0 ha 大豆 (麦後晚播) 20.0 ha 小麦 20.0 ha 小麦・大豆は二毛作
キャベツ + 水稻 + 大豆	60.0 ha	水稻 40.0 ha 大豆 10.0 ha キャベツ 10.0 ha

【目標經營体数及び流動化面積】

目標經營体数	經營体数	流動化目標面積 (令和 12 年) 面積 (ha)
個別經營体	160	—
組織經營体 (法人經營含む)	30	—
合 計	190	3,969

資料：角田市農業經營基盤の強化の促進に関する基本的な構想(令和 5 年 9 月一部改正)

## （2）農用地等の農業上の効率的かつ総合的な利用に関する誘導方向

本地域の農業生産組織化の現況は、法人経営体のように稻作を中心に組織化されている。かつては、生産調整のために各地に集団転作組合が数多く設立されていたが、現在は農業の大規模経営に向けた法人化組織の推進が求められている。

稻作以外では、畜産あるいは野菜等について生産者団体による専門部会を組織し、それぞれの部門で講習会を行い、共同購入・共同出荷のメリットを求め、出荷の基準を統一し市場での優位性を保とうとしている。

今後、地域農業の振興を進めていくためには、地域あるいは集団と連携した農業生産組織が必要である。そのためには、角田市農業委員会、みやぎ農業振興公社及び角田市農業振興公社との連携のもと、地権者と受託者の両者にメリットがあるものにしていかなくてはならない。また、従来からある作業受託組織を生かしていく必要もある。

本市では、平成 11 年に社団法人角田市農業振興公社（現 公益財団法人角田市農業振興公社）を設立し、市内の担い手農家やその自主的団体である農業経営者会議と連携し、担い手育成と農地集積を推進している。

平成 12 年 10 月には同法人が農地保有合理化法人を取得し、平成 26 年度には、農地中間管理機構と業務委託契約を取り交わし、農地の貸し手と借り手の仲介をおこなっている。また、農産物分野におけるグローバル化の流れのなかで、価格優位性を高めた作物・販売方法への誘導も期待されている。

## 2 農業経営の規模の拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用の促進を図るための方策

### （1）基本方針

基本構想により、市の流動化目標を 90%、面積にして 3,969 ha の流動化を目標としている。さらに、毎年策定する地域水田収益力強化ビジョンを推進するとともに、国の経営所得安定対策等の各種制度を積極的に活用しつつ、地域計画（目標地図）の実現に向けて、担い手への農地集積・集約を推進していく。

### （2）重点的に推進しようとする方策

#### ア 農地中間管理事業の活用

##### ① 基本的な考え方

令和 7 年 3 月策定・公告予定の地域計画（目標地図）の実現に向けて農地の貸し借りを推進し、意欲ある農業者に農地を集積・集約することで、農地の有効利用と農業者の経営規模の拡大を図る。

② 対象範囲

i ) 農地

地域計画（目標地図）の範囲の農地等。

ii ) 農地の借り受け希望者

令和 7 年 3 月策定・公告予定の地域計画（目標地図）に位置付けた農業者。

イ 農業経営基盤強化促進事業の活用

農業者が利用権設定等を行う場合、この事業により利用権等が設定される。（以下の事業により行う）

- ① 利用権設定等促進事業（令和 6 年度まで）
- ② 農地中間管理事業
- ③ 農用地利用改善事業の実施を促進する事業
- ④ 委託を受けて行う農作業の実施を促進する事業
- ⑤ その他農業経営基盤の強化を促進するために必要な事業

以上の事業を有機的に結合し、総合的な調整を図りつつ本市での農用地の利用集積を促進する。

### 3 森林の整備その他林業の振興との関連

しいたけ等の特用林産物は、従来、複合経営の一部門として農家の重要な収入源となっていた。しかし、平成 23 年 3 月に発生した福島第一原子力発電所事故による放射性物質拡散の問題以降、生産が減少している。

平成 31 年 4 月に森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が施行され、このうち、森林環境譲与税は、市町村においては、間伐等の森林整備や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発活動に充てることとされている。

これらの有効活用により、後継者不足で管理が届かない森林の間伐、再造林、里山林の整備、マツノザイセンチュウやカシノナガキクイムシなどによる森林病害虫等対策、鳥獣被害対策等の推進を図る。また、しいたけ等の特用林産物生産者の施設栽培による経営規模拡大を検討し、農業との調整を図りながら、農業所得の向上を図る。

## 第5 農業近代化施設の整備計画

### 1 農業近代化施設の整備の方向

#### (1) A 地区（隈東地区）

##### A-1 地域<枝野・藤尾>

稻作関係については、穀類乾燥調製貯蔵施設（カントリーエレベーター）を有効利用しながら担い手の規模拡大と農地の集積を推進する。また、「ふるさと安心米」ブランドで積極的に利用している有機質肥料については、平成19年度より稼動している「角田市農業の館」生産の「たい肥」を利用している。

野菜関係は、いちご、トマト、きゅうり等の産地化のため、ICTの活用を含め、効果的な施設園芸化を進める。

##### A-2 地域<東根（西小坂を除く）>

稻作は、共同化が進んでいる地域であるので、その効率的利用を進める。

野菜は、根菜類の生産が盛んな地域であるので、その機械化を進める。

#### (2) B 地区（隈西地区）

##### B-1 地域<小田>

稻作は、担い手の育成と規模拡大や農地集積を推進する。

野菜は、担い手の育成とハウス利用による園芸の推進を図る。

##### B-2 地域<角田・北郷・西根>

稻作関係については、規模拡大と農地の集積を推進する。

野菜はハウス栽培を推進し、人手不足はシルバー人材の利用等で改善する。

果樹については、施設の整備を図りながら、ブランド力のある果物づくりを推進し、日本なし、りんご、梅の生産拡大に努める。また、凍霜害、病害虫や鳥獣等の被害防止に努める。

##### B-3 地域<西小坂>

稻作は、担い手の育成と規模拡大を目指す。

### 2 農業近代化施設整備計画

特になし

### 3 森林の整備その他林業の振興との関連

森林資源である間伐材等の木材の有効利用を図る。畜産農家との連携により、畜舎やパドック等の建設用木材への利用や、おがくず等の牛舎敷料の利用を推進する。

## 第6 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備計画

### 1 農業を担うべき者の育成・確保施設の整備の方向及び農業を担うべき者のための支援の活動

本市では、市農業振興公社を中心に新規就農相談窓口の設置や就農相談会へ参加し、新規就農や第三者承継の推進を図っている。

就農後は、国の新規就農支援事業を活用し、新規就農者への経済的な支援を行い農業への定着を図るとともに、「角田地域担い手育成総合支援協議会」が中心となり、市農業振興公社、角田市農業経営改善支援センター及び角田市農業青色申告会が連携し、農業経営に関する講演会やパソコンを利用した複式簿記及び青色申告のための研修等を開催し、経営支援体制の確立と人材育成の支援を行っている。

### 2 農業就業者育成・確保施設整備計画

特になし

### 3 森林の整備その他林業の振興との関連

林業従事者に対して、技能の向上、能力の向上を推進するとともに、高度な技術や技能を有する人材の育成に努め、林業への就業の促進を図ることとする。

さらに、林業後継者が安定して林業経営を維持できるよう特用林産物生産等、農業との複合経営への導入等に努めることとする。

## 第7 農業従事者の安定的な就業の促進計画

### 1 農業従事者の安定的な就業の促進の目標

本市の農家形態は、農家数が全体的に少なくなってきた状況の中、専業農家においては、規模拡大を指向する農業者がいる一方で、高齢化による離農も進んでいる。

このような状況を踏まえ、法人を含めた担い手等を認定農業者として育成確保し、農地の流動化、農作業の受委託を進め、規模拡大による経営の安定を図っていく必要がある。

一方、安定的所得確保の観点から、農外労働の場の確保も必要である。農業所得以外の所得を含む家計全体の安定がなければ、農地の流動化も進みにくくと思われるところから、本市では工業団地の造成等、企業誘致に向けた環境整備やPR活動を進めてきた。今後も雇用の確保等に向けた取組を行い、兼業農家等の多様な就労機会の安定的確保に努める。

### 2 農業従事者の安定的な就業の促進を図るための方策

農業者等の安定的就業機会を確保するためには、企業誘致とそのための用地等が必要であり、本市では、これまでに45haほどの工業団地を造成し、企業誘致を行なながら雇用の確保に努めてきた。

今後も引き続き、企業誘致に必要な新たな用地を確保するとともに、企業の産業活動に欠かせない道路等の環境整備を行っていくこととする。また、市外へ就労する上で必要な鉄道や道路等の交通基盤の整備を進めるとともに、生活基盤となる宅地の造成等を促進し、定住及び移住者の確保について取り組んでいく。

### 3 農業従事者就業促進施設

兼業農家及び委託農家が安定した職場の確保を目的として、市内の未利用地等を活用した企業誘致を積極的に推進する。

### 4 森林の整備その他林業の振興との関連

本市の森林所有者のほとんどは零細規模であり、これまでにも林業事業者へ施業委託が行われてきた。

森林施業の集約化による低コスト化と林業従事者等の担い手の育成や雇用安定を図り、林業生産活動の活発化を図るため、今後も森林施業の委託を促進する。

## 第8 生活環境施設の整備計画

### 1 生活環境施設の整備の目標

本市は、平成27年度から7年間を計画期間とする「角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるため、積極的な取組を進めてきた。令和4年度には、「ゼロカーボンシティ宣言」を行うとともに、第3次環境基本計画を策定しており、目指すべき環境像として「緑・水・人」調和のとれた環境都市を進める必要がある。

交通体系については、国道、主要地方道及び一般県道の完全整備を目指し、国及び県への要望活動を継続するほか、市道については集落道の維持に重点を置いて整備を進める。

上水道については、ほぼ市内全域に普及しているが、施設の老朽化が進んでいるため、耐震化を踏まえた更新等による対策を図っていく。

下水道については、汚水処理の普及率向上のため水洗化の促進を行うとともに、適切な管理を図っていく。

し尿、ごみ処理施設については、し尿の合併浄化槽の整備を推進し、容器包装等プラスチック等不燃性ごみは、仙南地域広域行政事務組合、仙南リサイクルセンター等で効率的な処理を行ってきた。さらに平成29年度には、可燃ごみの処理を行う仙南クリーンセンターが完成し、効率的な資源のリサイクル体制が整った。

農村居住者の憩いと健康増進の場としては、農村公園、運動公園等の整備を図ってきた。

保育所、幼稚園等については、ニーズに応じた施設数を確保するとともに、サービスの維持・向上に努める。

生活環境の基盤整備と相まって、健康でゆとりのある農村生活が営める地域社会づくりが必要である。住民は、快適、安全、健康で住みよい生活をしたいと願いながら、地域社会のなかで連帯意識に支えられた日常生活をしている。

近年の農村社会は生活行動圏の広域化、他産業への就労する者の増加等により、地域的連帯感が失われつつあり、信頼関係に基づく地域社会の交流と協力体制の構築が重要である。

### 2 生活環境施設整備計画

施設の種類	位置及び規模	利用の範囲	対図番号	備考
公園整備	町尻区画整備地内・街区公園	角田字柳町 横倉字明地	16	

### 3 森林の整備その他林業の振興との関連

近年、森林に対する関心が高まっていることからも、市民の憩いの場としての斗蔵山野鳥の森等の整備充実を図り、山村地域の活性化を推進する。

深山緑地環境保全地域に指定されている東部、宮城県を北限とするウラジロガシが植生する斗蔵山県自然環境保全地域に指定されている南西部など、貴重な森林資源を維持し、併せて里山としての田園風景等の豊富な環境資源を生かし、農用地との一体的な管理も視野に入れ、貴重な森林環境を守り、潤いと安らぎをもたらす地域づくりを目指していく。

### 4 その他の施設の整備に係る事業との関連

本市の長期総合計画に基づく各種事業と一体的に農村生活環境の整備を促進する。

## 第9 付図

### 別 添

1. 土地利用計画図（付図1号）
2. 農業生産基盤整備開発計画図（付図2号）
3. 農用地等保全整備計画図（付図2号）
4. 生活環境施設整備計画図（付図2号）

### 別 記 農用地利用計画

#### （1）農用地区域

##### ア 現況農用地等に係る農用地区域

次表の「区域の範囲」欄に掲げる区域内に含まれる土地のうち「除外する土地」欄に掲げる土地及びこれらの土地以外の土地であって、現況宅地、境内地、鉄塔敷地及び池沼であるものを除いた土地を農用地区域とする。

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲		
A-1	枝野字	泉田	88-1. 89-1. 121-1. 122-1. 123-1. 225-1~264-3.
		泉	地目田畠全地区
		高島	"
		前川	1. 2-1. 148. 149. 151-1. 233-1. 238-1. 239-1.
		小原	33. 254-1. 256. 277-2. 278-2. 285.
		寺田	地目田畠全地区
		長田	10-1. 47-1. 54. 74-1. 121-1. 178-1. 187-1. 188-1.
		東本館	171-1.
		谷地	地目田畠全地区 10-1. 11. 12-1. 12-2. 39-1. 40-1. 41-1. 42-1. 43-1.
		新吉原	34-1. 35-1. 36-1. 78-2. 79-2. 80-2. 136-1. 143-3. 144-3.
		南大坊	46-1~51-1.
		北島	地目田畠全地区
		横堀	"
		真二も	"
		前原	139-1.
		上沼尻	66-1. 67-4.
		郡山	6-3. 7-1. 8-1. 9-1~12-1. 13-4. 17-5.
		郡	地目田畠全地区
		新品濃	5~39. 44~53-2. 55. 58. 60. 61.
		加賀	6. 9~15-3. 20. 23-1. 24. 26~27-3. 29~32. 34-1. 34-2. 39~44-2. 47-1. 47-2.
		川原	地目田畠全地区
		荒神	"
		新小原	"
		新谷地	"
		東寄井	地目田畠全地区 4.
		南台	地目田畠全地区
		北台	"
A-1	島田字	稻場前	2-1. 2-4. 4-1. 5-1. 8-1. 9-1. 11. 16-1. 16-3. 16-4. 17-1. 24-1. 26~30.
		池田	13-1. 16. 19. 21. 23~26.
		木ノ下	3. 5. 8. 10. 11. 16~19. 25. 27. 29~33. 35.
		広畠	10-1. 10-5. 12-1. 14-1. 15-1. 15-3. 15-4. 16-1. 16-3. 17-1. 18~20. 24-1. 27~29-2. 29-4. 30-1. 30-2. 30-4. 32-1. 33-1. 33-3. 34. 35-1. 35-2. 36-1. 37-1. 37-3. 38-1. 43-1. 43-4. 44-1. 45-1~46. 48.
		日向	10~13.
		筋ヶ沢	9-4. 10. 13~16. 18~20. 22~24-1. 26-1. 27-1. 28-1. 29-3. 32-1. 32-3~35. 36. 38. 39-2.
		諏訪部	12-1. 13-1. 17. 20. 21-3. 21-5. 21-6. 21-7. 21-10. 21-13. 21-19. 22. 27-1.
		今泉	20. 21. 22.

除 外 す る 土 地		備 考
枝野字	泉田 233. 244. 251~255. 泉 36~40. 94~96.	
	寺田 127-1. 176. 177. 218. 219-1. 275. 301-1~304-1.	
	新吉原 37~39. 39-1. 68. 南大坊 423~425-1.	
	横堀 61-1. 61-3. 61-4.	
	郡 36. 43. 66. 67-1. 新品濃 2~4. 21-1. 31-2. 40~43-3. 50-1. 54. 56. 57. 59. 62.	
	川原 24. 82.	
	東寄井 35-2.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲		
A-1	島田字	山中	16. 25. 28. 29.
		八走	地目田畠全地区
		三島	"
		樋場	"
	君内		
			地目田畠全地区
		島田東	"
		島田西	"
		林田堤	"
	新田	1~5. 8~11. 35. 39. 42~57.	
		光畠	地目田畠全地区
	宝作		
			地目田畠全地区
	野田		
			1. 2-1.
A-1	尾山字	校前	地目田畠全地区
		林田	"
		大橋	"
		北町	地目田畠全地区 30-2.
		粒ヶ尻	"
		五反田	地目田畠全地区 12. 13. 167-2. 318. 319.
		高橋	地目田畠全地区 169-2.
	高橋	大谷	"
		松橋	"
		吉田	4~8. 10~36.
		鈴ヶ入	1. 2. 7~13. 15~19.
		大柵	33. 36~38.
		引田	150-1. 152. 153-1. 154-1. 156-1.
A-1	藤田字	源内原	地目田畠全地区 153-3.
		台田	27-1. 28-1. 29-1. 30-1. 30-2. 30-3. 32-1. 39~41. 43-5. 47. 48-1. 51. 52. 53. 56.
		町永	地目田畠全地区
		中谷地	151-1~151-20.
		青木	128-1. 313-1~313-29.
		北谷地	地目田畠全地区 165-1.
		下仙石	4-1. 7-1.
		春日	地目田畠全地区 57-2.
		上田	地目田畠全地区
		竹ノ内	27-2. 27-3.

除 外 す る 土 地		備 考
島田字		
八走	1. 2. 33-3. 39-1. 44. 1. 26. 55~58. 69-1. 102-1. 156-1. 163.	
三島	1. 3-1~4-1. 4-4. 10~19. 42. 47~49-1. 55. 64. 77. 78-1. 90-1. 129. 130. 131-1.	
樋場		
君内	136~139. 200-1.	
島田東	61~63. 90. 96. 141. 160.	
島田西	146-1.	
光畠	45-1. 46-2. 47-1. 49-1. 55. 56-1. 59~65-1. 66-3. 116-1. 117~125. 128~136-1.	
宝作	27-3. 28-3. 29-3. 32-4. 33-3. 34-3. 37-3. 38-3. 38-4. 39-3. 40-3. 41-3. 42-3. 43-3. 44-3. 45-3. 47-1. 49-3. 50-3. 51-3. 52-3. 53-5. 53-6. 54-3. 55-3. 56-2.	
尾山字		
校前	146-1. 147-1. 148~150-1. 153-1~156. 157-2. 158-2~160. 162. 164. 164-1.	
林田	25-1. 33-1. 33-2. 37-1. 37-3. 43-1.	
大橋	10-1~12. 85-1.	
北町	37. 71. 73. 148. 154-1. 160-1. 161. 163-1.	
粒ヶ尻	32-1~45. 47-1~49. 97~102-1. 163. 164. 169~172.	
五反田	98~98-2. 99-2. 100-1. 101-1. 104~116-1. 157~161. 163~165-1. 188~194. 197. 320-1.	
大谷	1-1~4-1. 17. 80. 95-1. 96-1. 125-1.	
松橋	1-1. 4-1. 5-1. 7-1. 8-1. 48-1. 144-1. 145-1. 146-1. 148-1.	
藤田字		
源内原	6-2. 17. 18-1. 54-1. 54-3. 55. 69. 71. 82. 89~92. 102-1. 105~107. 113. 114. 119-1~128. 144. 152-1.	
町永	39-1. 40-1. 41-1. 42-1. 43-1. 45-1. 46-1. 47-1. 51-3. 78-1. 78-3. 91-1. 119-1. 120-1.	
北谷地	164-2.	
春日	1-1. 1-2. 72. 73. 156. 208.	
上田	24-1. 24-2.	

地区・区域 番号		区 域 の 範 囲	
A-1	藤田字	鹿野	3-1. 3-2. 3-3. 4.
		峯	5.
		新峰	地目田畠全地区
		庄司	75-1.
		館	88-1. 88-4.
		風呂前	地目田畠全地区
		塩ノ作	地目田畠全地区
		半田	地目田畠全地区 139-2.
		北根前	地目田畠全地区
		渕内	10-2.
A-1	坂津田字	新東中谷地	地目田畠全地区 15. 106-1. 151-1. 158. 186. 201-1. 201-2.
		上	地目田畠全地区
		銀杏	6-3. 9-1. 12-3.
		平口	76-1. 76-2. 77-1. 78-1.
		台	120-1.
		大久保	40.
		沖	9~20. 30~57. 68~107. 116~165. 167~203-1. 245-1~257. 259~281. 297~304. 306~335-1. 340~342. 355-1~372.
		池田	34. 43-5.
		銀杏下	地目田畠全地区 33-2. 41. 42.
		石切	地目田畠全地区
A-2	平貴字	稻田	"
		立花	地目田畠全地区 61.
		上	地目田畠全地区
		中	地目田畠全地区 70-1. 70-2. 71-1.
		下	地目田畠全地区 7-1. 7-2. 7-3. 7-4. 8.
		坂下	22-1. 23-1.
		閔下	1-1~5-1. 15-3. 17-1.
		沼下	62-1. 63-1. 69-1. 70-1. 70-2. 71.
		前河	18-1. 19-1. 19-2. 21-1. 23-1. 57-1. 58-2. 59-1. 60. 61. 64.
A-2	小坂字	滝沢	56-1. 56-4. 65-1. 242. 243.
		南	109-1~174.
		北	地目田畠全地区
		猪窪	36-1. 54-1.
B-3	小坂字	新土瓜	地目田畠全地区

除 外 す る 土 地		備 考
藤田字		
新峰	6-1. 6-2.	
風呂前	1-1~9. 18~22. 28. 45. 46-2. 50~52. 69-1. 71-1. 71-3. 71-4. 83. 117~121-2.	
塩ノ作	45-2. 45-3. 46. 98. 99.	
半田	42~52. 57~59. 63~65. 138. 141. 142. 160-1. 161. 162-2. 162-3. 167. 177.	
北根前	63~66. 98. 99. 119. 134. 135-1. 136. 138~141.	
新東中谷地	101~105. 204~206.	
坂津田字 上	7. 8-2. 9-1. 10-1. 11-1. 11-2. 11-4. 12-1. 13-1. 13-3. 14. 15-1. 16-1. 18~20. 21-1. 21-3. 22-1. 22-3. 23-1~23-4. 23-6. 23-8. 23-11. 23-15. 103. 104. 107-4. 108-4. 122-1. 155~157.	
坂津田字		
銀杏下	12-1. 13~15. 34-1~40. 47~53.	
立花	1-1. 1-6. 3-2. 113-1. 114-1.	
平貫字 上	1.	
中	98-2. 98-3. 98-5. 98-6. 98-7. 98-9. 98-11.	
下	35-1. 35-2.	
小坂字 南	116-1. 116-5.	
小坂字 新土瓜	25. 28. 37-1. 37-3. 38-1. 38-3. 39-1. 39-2. 39-3. 40. 41-1. 41-2. 48. 54.	

地区・区域 番号		区域の範囲	
B-3	小坂字	上小坂	21-1~32-1. 36~45-1. 47-1~90. 92-1~130-1. 132-1~134-1. 139-1~167-1. 171-1. 172-1~185-1. 189-1~197. 199-1~204.
		新折越	地目田畠全地区
		堤	"
		下小坂	地目田畠全地区
A-2	鳩原字	源内	地目田畠全地区
		鳩原上	地目田畠全地区 64-1.
		鳩原中	地目田畠全地区
		鳩原下	地目田畠全地区 50.
		鳩原西	"
		瀬ノ木橋	21-3. 21-4. 21-5.
B-1	角田字	大沼	地目田畠全地区
		鱸沼	8. 10.
		沼南	地目田畠全地区 67. 68の一部. 69-1の一部.
		野田	7-2. 8-3. 10-3. 11-2.
		町田	280~283. 316~351. 353~368. 369-2. 370-2. 371~378-1. 379-1. 449-2. 451. 452-2. 455-2.
		元鱸沼	地目田畠全地区
B-2	角田字	西田	92-1~104-1. 105-1. 107-1~118. 120~130. 352-1~368. 370~404.
		中沢	46-15.
		松ノ内	11. 68-2. 80-4.
		物見塙	地目田畠全地区
		老ヶ崎	未整理地 69-2. 69-3. 69-4.
		老ヶ崎	整理地 106-1~117-4. 144-1~151-1. 155~191-2. 193-1. 195~198. 200~247-1. 249. 260~272. 275. 277~285-1. 287-1. 288-1. 289~310.
		南田	地目田畠全地区

除　外　す　る　土　地		備　考
小坂字		
堤	31. 32. 37. 38. 132-1. 133. 135. 137. 252-1. 257-1. 258. 260. 277-1. 285. 302-1. 302-2.	
下小坂	61~63. 77~86. 88. 123-3.	
鳩原字		
鳩原上	63-1.	
鳩原中	9-1. 10-1. 11. 29. 31-1. 31-2. 32-1. 33-1. 54-1. 56-1. 57-1. 58-1.	
鳩原下	5. 8-1. 9-1. 11-3. 44.	
角田字		
沼南	10-3. 63-1~66-2. 98-1~101-2. 138. 139. 208-1~268-2.	
元鱸沼	1-45. 1-47. 1-157. 1-189. 1-200. 1-202. 1-292. 1-293. 1-301. 1-308~1-335. 1-337. 1-355. 1-356. 1-373. 1-398. 1-437.	
角田字		
南田	163.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
B-1	小田字 赤生	地目田畠全地区 5-4. 5-5. 7-4. 7-5. 7-7. 9-5. 12-2. 12-5. 15-7. 41-1. 43-1. 46-1. 46-3. 75-1. 77-1. 79-1. 80. 81. 128-2. 141-2. 142-2. 143-2. 144-2. 144-3. 145-3. 148-2. 148-6. 150-2. 153-1. 158-2. 163-2. 163-3. 165-3.
	荒井	地目田畠全地区 34-1.
	芋坊	地目田畠全地区
	板堰	"
	一里塙	"
	大原	地目田畠全地区 48-1.
	大山	地目田畠全地区 37-2. 43-2. 99-22. 99-23. 100-2. 100-3. 101-3. 101-4. 101-5. 101-10. 101-12. 101-14. 101-15.
	長瀬	地目田畠全地区
	荻窪	地目田畠全地区 38-2. 50-2. 56-2. 69-21.
	扇田	地目田畠全地区
	大窪	"
	香取	地目田畠全地区
	柿窪	地目田畠全地区 40-5. 40-6.
	釜ノ入	地目田畠全地区 29-1. 49-1. 49-2. 50-1. 57-1. 58-2. 58-10. 58-11. 58-13. 58-15. 58-16. 62-1. 62-5. 62-6. 72-2.
	鹿島	地目田畠全地区
	北沢	1-1~2. 5. 6. 8-1. 14-1. 15-1.
	黒内	地目田畠全地区 13-1.
	権原	地目田畠全地区 30-1. 30-2.
	小森	地目田畠全地区 4-2. 4-3. 6-2. 7-2. 8. 13. 25-5. 30-2. 36-2. 36-4. 36-5. 37-2. 51-2. 65-3. 66-2. 69-2. 71-2. 73-2. 85-2. 85-5.
	糀坊	地目田畠全地区 22-1. 23.
	新田	16.
	膳棚	37-1~39. 41-1. 41-2. 41-5.
	専福寺	22. 56-1. 68-1. 68-2. 69-2. 70. 100-2~100-10. 100-14~100-16. 100-56. 100-66. 100-67. 100-84~100-87. 100-91. 100-92. 100-109. 100-133.
	奏膳	32-2. 32-3.
	館ヶ崎	地目田畠全地区
	台	1. 1-1. 12. 13. 15.
	竹ノ内	地目田畠全地区
	長江	"

除 外 す る 土 地		備 考
小田字	赤生	129-1.
荒井		39-1. 40-1. 44-1. 49-1. 52-1. 54-2. 56-4. 59. 63. 65-3. 70. 71-1. 74-1. 75-1. 76-1. 78-2. 78-67. 79-1. 80-1. 83-1.
芋坊		9-5.
大原		1-8. 1-9. 1-11. 1-34. 1-37~1-39. 1-41. 1-43. 1-44. 2-6. 2-9~2-11. 14-2. 16-2. 25-1. 27-2. 28. 29. 33-2. 35-2. 37. 45-4. 45-5. 52-1. 52-2. 70-12.
大山		59-7.
長瀬		87.
荻窪		106.
大窪		18-1. 36-2. 38-3. 41-2. 59-1. 60-4. 61. 99.
香取		27-1. 28-1. 31-1. 32-1. 35-1. 36-1. 41-6. 47. 51. 51-3. 54. 54-2. 55. 57. 60-1. 61-2. 62. 63. 64. 65-3. 65-5. 65-7.
鹿島		62. 63. 64. 65. 67. 68. 69. 78-2. 82-1. 82-2. 82-6. 83. 83-3. 84. 84-2. 85. 86. 86-2. 89. 104.
黒内		2-1. 3. 5. 6-1. 20. 22-1. 23-1. 24-1. 25-1. 25-2. 26. 27. 28-2. 29. 30-1. 31. 31-1. 32-1. 34-3. 34-4. 35-1. 36-1. 37-3.
権原		34-5. 45-4.
糀坊		1. 5. 6-2. 7. 17. 19-2. 26. 27-1. 28.
館ヶ崎		35-7.
長江		41~51-1. 54-1~67-1.

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲		
B-1	小田字	戸ノ内	2-1. 4-1~14-2. 17-1.
		中谷地	地目田畠全地区
		西屋敷	49-1. 73-2. 75. 77-2. 78-5. 79-1. 80-1. 80-2.
		原戸	52-3. 52-5. 52-7~52-13. 52-15. 52-16.
		舟沼	地目田畠全地区
		福田	地目田畠全地区 126-1. 129-1.
	大字	藤倉	地目田畠全地区 55. 58-2. 58-4. 70-3.
		舟橋	地目田畠全地区
		細越	地目田畠全地区 1-3. 1-4. 2-2. 2-4. 2-6. 16-8.
		宮田	地目田畠全地区
		向戸ノ岡	1. 5-1.
		柳沢	1-3. 2-1. 4. 4-1. 16. 21-1. 21-3. 22-2. 22-3. 34.
		山中	14-1. 14-3. 14-4. 15. 16-5. 19~21. 23-8~23-10. 24. 29-1. 29-3. 29-4. 29-6. 32. 35-1. 35-4. 38. 39-1. 46-1. 63-2.
		割石	地目田畠全地区 32. 34-1. 34-4. 41-1. 42-9. 42-13. 42-14. 42-16. 42-17.
		柄倉	地目田畠全地区 6-2. 26. 37. 46-2. 66. 67-1.
		大岡	地目田畠全地区
B-2	豊室字	市之亟	47-1. 47-4. 47-18. 47-22~47-24. 51-1. 51-5.
		大江南	未整理地 60. 72~75. 97-1. 97-6. 97-7.
		大江南	整理地 49. 144-1. 144-2. 145.
		上平	2-1~5-1. 7. 15-1. 26-1. 28-1. 30. 58-5. 59-1. 59-3. 59-7. 59-14. 59-15.
		川南	地目田畠全地区
		樺木	"
	大字	熊野前	23-1. 24. 43-1. 43-3. 43-12. 45-1. 57. 58. 62-1. 65-1. 66. 67. 73. 79-2. 79-4.
		小豊室	3. 5-1. 6-3. 8. 9. 11. 13. 24-1. 28-1. 43. 44. 64~67.
		中平	2-1. 6-1. 8-1. 11-1. 12. 14. 15. 17~20. 22. 26.
		沼頭	15-2. 41-5. 42. 44. 51-1. 82-1. 82-2. 82-4. 82-7. 83-1. 83-2. 87.
		彦田坂	地目田畠全地区
		松沢	1. 2-4~2-6. 5. 17-2.
		峰崎	12. 54~56. 60. 63. 64-1. 68. 72-1. 87-2.
		谷地	地目田畠全地区
		豊栄	"
		豊泉	"
		豊里	地目田畠全地区 131.

除　外　す　る　土　地		備　考
小田字		
舟沼	5-1. 19. 76. 148. 197-1. 213.	
福田	54-1. 55-1. 91-1. 92-1. 93-1. 94. 98. 99-1. 99-2. 99-6. 100-4. 101~105. 107-1. 107-3. 107-4. 109-1. 110-1. 111.	
藤倉	5. 6-2. 6-3. 6-4. 7. 8. 9. 12. 12-1. 12-3. 12-4. 25. 40-2.	
板倉	16. 20. 133-1. 133-2. 133-5. 136-1. 137. 139-1. 145-2. 151-1. 156-1. 157. 163-1.	
豊室字		
川南	3-2. 4. 7. 8-1. 14. 70. 76~79. 98. 105. 109. 111-3. 113. 117-1~119.	
樺木	1. 2-1. 15-2. 15-3. 16-1. 16-6. 22-1. 23. 44-1. 45-1. 61. 62. 67. 69-4. 70-3. 71-1. 74-1. 75-1. 75-3. 76. 77-1. 77-3. 77-4. 78-1. 79-1. 81-1. 91.	
彦田坂	24. 32-1.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲		
B-2	豊室字	梅之里	地目田畠全地区
		梅ヶ岡	〃
B-2	横倉字	後谷地	423. 432. 433. 440~444-1. 445-3. 446-1. 447.
		呑内前	整理地 地目田畠全地区
		大在家	42-1. 44. 104~107. 127~137. 139~150. 159-1. 159-3~170-1. 173~185. 203~207. 213-1~217-1. 220-1. 225. 230~232.
		左閑	整理地 3-1~13-1. 14-3. 14-4. 15. 16-2. 16-3. 18-1. 21-1~24-1. 26-1~35-1. 37-1~58-1. 65~74-2. 76~92-1. 95. 96. 102-1. 104-1~108-1. 111~114-2. 303-1. 326-1. 327-1. 393-1.
		丸山	60-1. 62-1~68.
		後田	地目田畠全地区
		高森	〃
		宮西	〃
B-2	梶賀字	東	1-1~33. 35. 37. 43~45-2. 47-1. 48-1. 51-1~54. 56-1. 63-1~115. 117~128. 204-1. 204-2. 206. 208~211. 214~216-1. 220-1~225-2. 235-1~238-1. 238-3. 238-4. 239-1~243.
		西	6~16. 24~31-1. 59-1~66. 86-1.
		南田	地目田畠全地区
B-2	佐倉字	北原南	6-1~22. 24~27-1. 29-1~36-2. 38-1. 38-2. 51-1~54. 56. 59. 61 63-1. 74-1~81-1. 84-1~88-1. 88-4. 89-1~105. 108~140. 151~153-1. 154~171. 224-1~302.
		北原北	地目田畠全地区 156. 157.
		下川原	地目田畠全地区 63. 64-2. 65-1. 65-2.
		下北原	地目田畠全地区
		高田	〃
		高田南	23-1. 24-1.
		玉木	地目田畠全地区 18. 33-1. 33-2. 62-1. 63-1. 64-2 65-2.
		長町	地目田畠全地区
		中川原	地目田畠全地区 178. 179.
		中川原東	地目田畠全地区 8-1.
		二反丁北	19-2.
		町裏三番	地目田畠全地区
		萱場	1-1~9-1. 11~13. 14-1. 15~33-1. 42~82. 84~111. 121~134. 136~175. 185~210-1. 211-1. 212~237. 246~299. 311~352. 361~370-1.
		小山	5-2. 6-1. 8~11-1. 29. 30. 102~106-2. 108~112. 114~117. 119. 120-1.

除 外 す る 土 地		備 考
横倉字		
吞内前	整理地 1-1~16-1. 29-1. 57-1. 65. 99-1~101.	
梶賀字 東	213.	
佐倉字		
北原北	36-1~42-1. 68-1~74-2. 107-2. 139~145-1. 177-1. 180. 181-1. 183-1. 185-1. 185-2. 186-1. 186-2. 247~251-1. 253-1. 255-1~258-2. 294-1. 294-2. 313. 314-1.	
高田	199~202.	
玉木	24~30-3. 71-1~86. 95-1. 96-1. 99~102. 103-2~105-1.	
長町	1-2. 3-1. 114-3.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
B-2	佐倉字 中前	109. 110. 111-1~111-3. 112. 123. 124-1. 125-1. 126-1. 126-3. 127-3. 128-2. 132-1. 134-1. 135-1. 136-1. 137-1. 139-1. 140-1. 141-1.
	北田	地目田畠全地区 110.
	中田	地目田畠全地区
	長田	地目田畠全地区
	西原	地目田畠全地区
A-1	佐倉字 中島	地目田畠全地区 49-3. 91. 111-4.
	中島南	地目田畠全地区
B-2	笠島字 愛宕前	地目田畠全地区
	石生	地目田畠全地区 9. 32. 49.
	大畠	地目田畠全地区 17. 32. 58-3. 66-1. 68-1. 70-1. 81-1~83-1. 86. 87-2. 93-1. 93-2. 111-1. 116-1.
	大関	地目田畠全地区 4-1. 5-4. 10-1. 16. 19-1. 19-3. 20. 23.
	大橋	地目田畠全地区
	上鈴生	地目田畠全地区 2-3. 3-4. 5-2. 13-2. 19-4. 43-1. 47-1. 49-1. 50-4. 50-12. 50-17. 50-18.
	雁坊	地目田畠全地区 6. 23-1. 27-2. 27-4. 39. 40-1. 46-1. 48-1. 64-11. 70-4. 70-6. 72-1. 72-2. 72-4.
	黒荷田	地目田畠全地区 2-3. 5-1. 11-1. 12-1. 18-1. 23-1. 29-4. 29-6. 30-1. 35-1. 35-3. 41-2. 51-2. 59-1.
	才ノ前	地目田畠全地区 6-6. 6-7. 7. 14-3. 22. 28-6.
	坂下	地目田畠全地区
	新田	地目田畠全地区 6-3. 11-1. 14-3. 15. 17-1. 17-3. 18. 20-2. 24. 27-1. 32-2. 36-1. 51-3. 53-2. 53-4. 53-6.
	下鈴生	地目田畠全地区 5. 29-1. 38.
	立石	地目田畠全地区 13-1. 13-3. 13-7. 28. 32. 34-1. 42-1. 47. 51-1. 58-1. 77. 79-1. 86. 98. 99-1.
	狸窪	地目田畠全地区
	竹ノ内	18-1. 21-1. 23-1. 23-3. 28-1. 30-1. 31-1. 32-1. 34-1. 35-1. 38~41-1. 51-1. 55-1. 60-1.
	滝	1-1. 2-1. 4.
	出戸	地目田畠全地区 24. 29-2. 41-1. 54-1. 56-1. 77-1. 77-3.
	戸持沢	地目田畠全地区 15. 29-2. 29-3.
	百々貫	50-2. 61. 80.
	東ヶ崎	19-1.
	長坂	地目田畠全地区 4. 5. 8. 13. 16-1. 33-2. 36-3. 40-1. 42-1. 44-1.
	成生田	1-1~4-1. 9~11. 20-1. 21. 23-1. 30-1.
	中	地目田畠全地区 235-2.

除 外 す る 土 地		備 考
佐倉字		
西原	38~40.	
笠島字		
石生	35. 37. 50. 67.	
大畠	52-1. 52-2. 52-3.	
大関	25-1. 29-10.	
大橋	4-1. 4-3. 56-1. 86-1~89.	
雁坊	32-1. 67. 69.	
黒荷田	14. 32. 56-2. 62-2. 62-3.	
坂下	1-1. 1-2. 2-2. 3-2. 5. 8-1. 14. 18-1. 23-1. 24-1. 25-1. 26-1. 26-3. 37. 46-2. 51. 52. 55. 56. 67. 71.	
出戸	15. 19. 28-5.	
中	189-1~191. 239.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
B-2	笠島字 林	地目田畠全地区 46. 62-2. 76-1. 76-2. 112. 116. 124-2.
	畠中	24-1. 25-1. 27~29-1. 40-1. 42-1~44. 46-1~51. 54-3. 55-1. 66-3.
	八神	2-1. 2-6. 3-1. 9. 11-1~11-3. 11-6. 11-7. 11-9. 13-1. 14-1~16. 18. 19. 22~24-1. 34-1. 35. 60-1.
	平場	地目田畠全地区 7-1. 12-9. 23-3. 23-12.
	蛇石	地目田畠全地区 11. 14. 19-1. 20-1. 29-1. 34. 48-1. 51. 74-1. 92. 98. 118-1. 120-2. 122-1. 128-4.
	保戸石	地目田畠全地区 6-1. 30-1. 33-1. 49-1. 53-1. 57-1. 67-3. 67-5. 68-1.
	宮沢	地目田畠全地区
	山梨	地目田畠全地区 4-1. 15. 21. 23. 27-2. 31-3. 31-4. 41. 44.
	山田	1-1. 1-4. 1-5. 9-1.
	山口	3-1. 4. 5-1. 6-1. 11-1.
	鰐口	地目田畠全地区 1-1. 1-3. 2-1. 6-1. 10-2. 11-3. 12. 18. 20-1. 20-4. 26. 32-2. 51-3. 56.
	和田	54.
	川北	地目田畠全地区
	川南	"
B-2	高倉字 愛宕後	地目田畠全地区 10.
	新田	"
	荒屋敷	地目田畠全地区 7. 9-2. 14-5. 14-13. 14-16. 14-19. 14-21. 14-22.
	入ノ坊	地目田畠全地区
	牛沢	地目田畠全地区 44. 51-3.
	内田	1-1. 2-1. 5-1. 17-2. 23. 24-1. 40. 63. 64. 86. 87. 92. 162.
	大久保	地目田畠全地区 12. 28-1. 28-2. 30. 34. 38. 44. 56. 57. 61-2.
	大畠	地目田畠全地区 2-1. 7-2~7-4. 44. 46. 51. 76. 102-4.
	大鳴	地目田畠全地区 18-7. 23-6. 25. 26-3. 28-1. 38. 42-4. 50. 52-2. 60-2. 62-4. 62-8. 62-9.
	岡沼	地目田畠全地区 7. 9-2. 10. 21. 22-1. 39. 40. 56-2. 60-2. 70-2. 70-3. 71-3. 73-2. 75-2. 77. 87-2. 87-4. 91. 92.
	寛明院	地目田畠全地区 8. 19-1. 21-1. 37-1.
	釜前	地目田畠全地区 147-1. 178-1. 195-1. 217. 220. 223. 230-5.
	川原	地目田畠全地区 34-1. 36-1. 41-2. 42-1. 51-1. 51-3. 51-4. 61-1. 62.
	北幕居	地目田畠全地区 42. 47. 55. 70. 72. 85.
	熊野田	地目田畠全地区 8-3. 12. 14-4. 14-5. 21-3. 21-4. 25-2. 29-11. 110-1. 114. 238-3.

除 外 す る 土 地		備 考
笠島字 林	41. 68-1.	
平場	3-2. 4-2. 6-1.	
蛇石	41-3. 45-4.	
保戸石	5-1. 17-1. 44.	
山梨	47.	
鰐口	10-1. 20-2. 20-3.	
高倉字		
入ノ坊	14-1. 14-2. 14-3. 14-4.	
牛沢	9-1. 9-3. 51-1.	
大久保	60.	
岡沼	88-2. 108-1. 111. 113-1.	
寛明院	46-1.	
北幕居	34.	
熊野田	64-5.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
B-2	高倉字	下道 地目田畠全地区 3-3. 19-1. 24. 小原田 地目田畠全地区 22の一部. 95-2. 139. 小寺内 170-1. 小塚 地目田畠全地区 1. 2-2. 8-1. 22. 105-1. 106-1. 119-1. 129. 163-1. 163-6~163-8. 163-10. 163-12. 163-14. 167. 175-1. 175-8. 175-9. 175-15~175-17. 金神 地目田畠全地区 33-6. 59-2. 63. 64-2. 66. 99-5. 100-8. 沢尻 地目田畠全地区 6-5. 8. 沢田 36-1. 36-2. 36-4. 42-2. 51-2. 笹森 地目田畠全地区 32-1. 34. 坂下 地目田畠全地区 7. 8-1. 8-2. 37-4. 42-1. 43-1. 44-1. 44-2. 45. 47. 49. 50. 51-2. 51-3. 52. 53. 54. 56. 57. 58. 59. 65-2. 66-3. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 79. 82-6. 82-8. 82-10. 82-11. 82-12. 82-14. 83. 五月田 地目田畠全地区 64. 122-3. 179-1. 三百地 地目田畠全地区 菖蒲田 地目田畠全地区 8-2. 13-2. 14-8. 14-9. 14-10. 14-12. 16-4. 16-5. 17-2. 17-4. 24-1. 33-4. 35-2. 菅田 地目田畠全地区 31. 34. 38. 51. 相善 地目田畠全地区 19. 26. 32-1. 68. 76. 89. 高畠 地目田畠全地区 7-1. 7-2. 47-1. 82-1. 駄詰 地目田畠全地区 椿板 //
	妻 //	
	鳥揚	地目田畠全地区 1-1. 1-4. 1-5. 5. 8. 10-3. 12-1. 56-1. 58-2. 58-3. 67. 73. 85-1. 85-3. 85-4. 86.
	鳥屋場	1-1. 1-2.
	中森	地目田畠全地区 1. 10. 45-2.
	西原	地目田畠全地区
	沼ノ入	地目田畠全地区 2-1. 19. 40. 41. 42-1. 44-1. 53. 95-1. 96. 115. 133. 134-1.
	八神坂	52. 53-3. 82-2.
	広畠	地目田畠全地区 3-1. 4. 13-1.
	広田	地目田畠全地区 30-2. 341. 342.
	南谷地	
	南幕居	地目田畠全地区 141. 142-4. 142-7. 147. 150. 153. 153-1. 154. 156. 157. 159. 163-1. 175-1. 177-1. 181. 183-1. 184. 185-2. 188. 190.
	柳沢	12.
	山田	地目田畠全地区 4. 5. 18-3. 18-4. 21. 26-2. 46-2. 118. 169-1.
	弥治郎内	42-1. 44-1.
	湯沢	3. 4.

除 外 す る 土 地		備 考
高倉字		
小原田	11-2. 60-7. 75. 82. 91.	
沢尻	1-1. 4-1. 12-3. 18-3. 28-22. 28-28.	
笹森	89-2.	
菅田	2-1. 2-2.	
相善	14.	
高畠	12-1. 74-1. 78.	
鳥揚	2.	
中森	8-1. 8-2.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
B-2	高倉字 上代	地目田畠全地区 1-5. 1-6. 1-12. 5-3. 10-1. 11-1. 13. 14-1. 16-3~16-5. 24. 33. 43. 52-2. 60-1. 68. 69. 70. 75. 82. 88. 96. 99.
	大田	地目田畠全地区
	幸	"
	新耕	"
	新内田	"
	上の松	"
	館東	"
B-2	天王前	"
	稻置字 荒屋敷	61.
		大石 53-1. 53-4. 53-7. 53-8~53-11.
		大石入 118-2.
		大石前 5-1. 5-4.
		北窪 12-1. 13.
		北浦 3~8-1. 8-3. 12-1. 13.
		北谷地 29-1.
		狐崎 14.
		小針前 22. 26-1. 27-1. 31. 38-1.
		荒神 地目田畠全地区 29~38-1.
		三ノ入 14-1.
		地蔵堂 地目田畠全地区
		壇ノ越 地目田畠全地区
		堤下 "
		中ノ内前 "
		明神沖 140~146. 179~181. 183. 238~241.
		堂前 地目田畠全地区
		石橋 "
B-2	毛蓋字 赤田	新館浦 "
		新明神 "
		築道 "
		新館前 "
		地目田畠全地区
		岩ノ沢 地目田畠全地区 32. 33. 39-1. 39-2. 40-1~40-3. 41.
		岩崎 88-3. 111-8. 124. 126. 129-2. 131-1. 132-1. 132-3. 133.
		受地 37-2. 53-1. 61.
		梅ヶ窪 地目田畠全地区 26. 76.
		牛川内 "
		大森 90-1.
		荻窪 41. 42. 48. 55. 58-1. 58-2. 61~69. 76. 77. 78~81.
		雁田 地目田畠全地区
		熊野堂 地目田畠全地区

除 外 す る 土 地		備 考
高倉字	上代	23-2. 54-2. 54-3.
	上の松	1. 41-1. 41-2.
	稻置字	
	荒神	93-1. 94-1. 94-3. 95-1. 96-1. 97-1. 98-1. 99.
	地蔵堂	6-2. 12-1. 14. 15. 24. 25-1. 26-1. 27-1. 28. 30-1. 31~36-1. 37-1. 38-1. 39-4.
	壇ノ越	2-2. 25. 55~58-1. 61-2. 62.
	堤下	60-1. 61.
毛蓋字	岩ノ沢	22. 25-1.
	牛川内	33-2. 39-2.
	雁田	24. 26. 32. 33. 35-1. 35-2. 36-1. 38. 40-1. 52-7. 54.

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
B-2	毛萱字 小迫	46. 49. 52. 53-1. 59. 60-1. 60-2. 64~66. 69-1. 71-1~73. 176-1. 180.
	沢田	46-1. 47-1. 48-1. 48-2. 49~52. 55-1. 55-4.
	沢尻	地目田畠全地区 7-3. 7-5. 12-2.
	十五町	43-1. 45-1. 48-1. 50-1. 52. 53-1.
	高橋	80-1~82-1.
	館下	4-1. 12. 18-1. 18-8.
	長三郎	地目田畠全地区 4. 16-2. 20. 40. 44-1. 46. 47.
	富田	31-1.
	柄窪	地目田畠全地区
	中ノ内	17. 18. 20~22.
	中石	地目田畠全地区
	直田	"
	西ノ腰	"
	荷付場	地目田畠全地区 7-3. 7-4. 8-4. 12-1. 12-2. 15.
	新田	地目田畠全地区
	西谷地	29.
	西ノ入	地目田畠全地区
	羽黒	地目田畠全地区
	東谷地	159-1.
	日陰沢	11.
	平沢	地目田畠全地区
	松沢	"
	丸森	"
	松下	104-1.
	南戸ノ内	60-1.
	南谷地	4-1. 4-3.
	箕輪	63-1~66-1. 68-1. 71.
	宮下	90.
	山入	地目田畠全地区 36.
	山ノ内	地目田畠全地区 9. 11. 19.
	龍ヶ沢	42-2. 49-5. 55-1. 55-2. 55-3. 56.
	倉田下	地目田畠全地区
	諏訪前	地目田畠全地区 76.
	寺又	地目田畠全地区
	中宮	"
	新高橋	"
	新倉田	"
	稻前	"
	松田	"
	小沢	"

除 外 す る 土 地		備 考
毛萱字		
栎窪	1. 4. 5. 13. 18-1. 18-2. 19-2. 20. 114-3.	
中石	2-1. 4-1. 148-1. 148-2.	
新田	20. 21-1. 34-2. 34-7. 35-3. 36-1. 44. 45. 46. 46-2.	
西ノ入	5-3. 5-4. 5-6. 18-1. 18-3. 18-4. 25. 27-3. 31-1. 33-2. 34-1. 34-3.	
羽黒	2-1. 2-2. 2-6. 4-3. 28-1. 29~31-1. 35. 74-2. 88. 91-1~91-3. 95-13. 95-14.	
松沢	93-49.	
丸森	4. 5. 8-1. 11-1. 29-1.	
山ノ内	23.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲		
B-2	花島字 川端	107-1. 108-1~108-3. 110-2. 111-1. 114. 115. 115-2. 120-1. 120-4. 148-1~151.	
	土手崎	4-1~9-1. 12. 14. 16. 17.	
	花西	267. 168.	
	宮前	地目田畠全地区 65-1. 65-2. 86. 88-1. 88-2.	
	柳花	地目田畠全地区 67.	
	深山	地目田畠全地区	
B-2	江尻字 江端	1-1. 1-4. 1-5.	
	大山	地目田畠全地区	
	尾袋	"	
	川原	"	
	木所前	19-1~28-1. 36-1~39-1.	
	小山	71-1. 72-1. 73. 74-1. 75-1. 76-1. 77-1. 78. 79. 80-1. 81-1. 92-2. 92-3. 93-2~97. 99~106-2. 108-1~109. 110-2. 110-3. 111-1~111-3. 112-1~112-3. 113~123-1. 123-3. 124-1~126-2. 160-1. 161-1~163-1. 163-3. 164-2. 165-1. 166-1~167-1. 168-1. 168-2. 169-1. 169-2. 171-1. 187-1. 188-1. 188-2. 188-4. 188-6. 189-1~189-3. 190-1~192-1. 193-1~193-3. 194-1~195-1. 196-1. 196-2. 197~199-2. 200-1. 202-1.	
	小桜	地目田畠全地区	
	江東	"	
	江西	"	
	桜沢	23-6~23-8.	
	島西	地目田畠全地区	
	島西浦	121-3. 122-2. 122-4~122-6. 123-2~125-1. 126-3~126-8. 127~135.	
	渋井	30-3. 57-1.	
	館下	整理地 12-1~14. 16-1~20-1. 26-1~32-1.	
	堤	174-1.	
	土手西	地目田畠全地区 81.	
	中田	地目田畠全地区	
	西浦	14-1. 14-2.	
	古川	6-2. 8-2. 8-5. 10-1.	
	深沼	地目田畠全地区	
	前原	"	
	峰岸	整理地 93-1~101-1. 104-1.	
	元宿	地目田畠全地区	
	東浦	6-2. 7. 10. 12-2. 16-1. 16-4. 16-6~16-10. 18-3. 27-2. 31-2~34-2. 37-1. 59~60-2. 62-3. 63-1. 63-2. 64-2~65. 66. 67. 68~74-2. 76-1. 77-1. 77-2.	
B-3	江尻字 中谷津	地目田畠全地区	
	巻北	"	
B-2	岡字 穴ヶ崎	21-1. 34. 35. 39. 40-1.	
	浦町	112. 177-1~182. 195~208. 211-2.	
	内谷浦	240-1. 241. 255~259-1. 267.	
	内川	125-1.	

除 外 す る 土 地		備 考
江戸字		
江東	9. 10. 11. 30-1. 31. 32-1. 34-1. 35-1. 37-1. 37-2. 38-1. 40. 132.	
江西	125-3. 158-1.	
土手西	18. 27. 29-1. 30. 31. 32.	
中田	155-1.	
深沼	3-1. 35-1. 35-2. 36-1. 36-2. 77.	
前原	1-1. 1-2. 3-1. 38-1~40-3. 173-2.	
元宿	6-1 (未整理) . 7-1 (未整理) . 8 (未整理) . 93-1 (未整理) .	
江戸字 中谷津	29-1.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲		
B-2	岡字	岡浦	9~12.
		岡前	293-1. 293-5.
		大在家内	115-1. 115-2.
		鬼平太	地目田畠全地区
		北谷	21-1. 30-1. 31-1. 31-3. 33-1. 45. 59-1. 73-1.
		小沢田	43. 58. 75-2. 75-3. 76. 77. 77-1. 78-1. 78-2. 79. 84-1. 96-1. 132-1. 134-1.
		小長	1-1. 2~7-1. 8-1. 9-1. 9-2. 10-1. 11~12-2. 13. 14-1. 15-1. 16-1. 17-1.
		小浦	73~77.
		新田前	地目田畠全地区
		新橋道下	59. 62-1. 69-5.
		竹中沖	87-1. 88-1. 88-3~90-1.
		長峰	36-1.
		西浦	1. 2. 30. 31.
		西原	147. 166-1. 167-1. 168. 169-1. 170.
		西方	25-1. 26-1. 27-1. 28-1. 29. 30-1. 31-1. 32-1.
		梁瀬浦	66-1. 66-2.
		梁瀬内	8-1. 10~12-1. 83. 84. 85. 86.
		西田	地目田畠全地区
		福田	"
		内谷	"
		梁瀬	"
		堤	"
		岡南	"
		白坂	"
		川南	"
		平田	"
		荒西	"
		梶内	地目田畠全地区 58.
		松本前	"
B-2	君萱字	内方	地目田畠全地区
		菖蒲沢	1. 5. 10. 12. 14. 15. 18~20-1. 23-1. 27-1. 27-3. 28-1. 102.
		田中下	41. 42. 44~47-1. 49-1. 50-1. 51-1. 55~62. 65-1. 66-1. 67-1. 68-1. 69-1. 70-1. 71~84.
		長井戸	地目田畠全地区
		西羽黒	地目田畠全地区
		馬場前	"
		二又	26-1. 28-1. 29-1. 31. 94. 95-1. 96-1.
		別当内	3-1. 6-1. 7-1. 10-1. 11-1. 12-1. 13-1. 20-1. 21-1. 22-1. 23-1. 26-1. 26-2. 28-1.
		神新田	地目田畠全地区
		新田東	"
		新田西	"
		新駒込	"
		羽黒崎	"
		羽黒前	"

除 外 す る 土 地		備 考
岡字		
新田前	19-1. 20-1. 35-1. 36-1. 38. 39-1.	
君萱字		
長井戸	43-5. 47-3. 48-1. 49-1. 50-1. 62-1. 77-1. 123-1.	
西羽黒	16-2. 33.	
馬場前	22. 35-1. 49-1. 52. 53-1. 54-1. 55-1. 63-1. 63-2. 63-7. 65. 80-3.	

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
B-2	神次郎字	内室 地目田畠全地区
		柏崎 2-1. 6-1. 6-3. 8. 27-1. 29~32-1. 35.
		釜川西入 37.
		金越 77-1.
		高野坂 1. 2. 6-4. 9-1~10. 26.
		神町 地目田畠全地区
		栃窪 23~26. 28. 32. 33. 35~37. 39. 43-1. 44-1. 46. 47-1. 50-1. 51. 52-1. 53-1. 54.
		西高野 51. 52. 54-1. 55-2. 59. 60. 61-1. 62-1. 64-1. 65-1. 66-1. 67. 68-1. 69-1. 72-1.
		東ノ入 27.
		弁天 地目田畠全地区
		宮田 45-2. 50-1. 50-2.
		四ツ町 47-1. 47-3. 68. 70-2. 70-3. 94-2. 106-2. 106-14.
B-3	神次郎字	東神 244~251.
		新西神 地目田畠全地区
		清水 1. 2. 27~39.
		新東神 地目田畠全地区

除 外 す る 土 地		備 考
神次郎字	内室	5. 21. 24. 32-1. 33-1. 34-1. 35-2.
弁天		86-1. 87-1. 87-2. 88-1. 89-1. 129. 130.
神次郎字		
新東神		74.

## (2) 用途区分

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
A-1	採草放牧地	藤田字峯の一部 農用地区域までの区域 " 六角の一部 " " 北是入の一部 " " 是入の一部 " " 舘の一部 " " 川前の一部 " " 庄司の一部 " " 宮沢の一部 "
	農業用施設用地	枝野字小原 256. " 長田 178-1. " 谷地 10-1. 11. 12-1. 12-2. 39-1. 40-1. 41-1. 42-1. 43-1. " 東寄井 4. 尾山字北町 30-2. " 五反田 12. 13. 167-2. " 高橋 169-2. 藤田字源内原 153-3. " 北谷地 165-1. " 春日 57-2. " 竹ノ内 27-2. 27-3. " 舘 88-4. " 半田 139-2. " 新東中谷地 15. 158. 佐倉字中島 49-3. 91. 111-4.
	農 地	採草放牧地、農業用施設用地として区分した以外の区域
A-2	農業用施設用地	坂津田字銀杏 6-3. 9-1. 12-3. " 沖 81. 82. 92. 148. " 池田 34. 43-5. " 銀杏下 33-2. 41. 42. " 立花 61. 平貫字中 70-1. 70-2. 71-1. " 下 7-1. 7-2. 7-3. 7-4. 8. 鳩原字鳩原上 64-1. " 鳩原下 50. " 瀬ノ木橋 21-3. 21-4. 21-5.
	農 地	採草放牧地、農業用施設用地として区分した以外の区域
B-1	採草放牧地	小田字栃倉の一部 農用地区域までの区域 " 割石の一部 " " 赤生の一部 " " 大山の一部 " " 藤倉の一部 " " 細越の一部 " " 柿窪の一部 " " 小森の一部 "
	農業用施設用地	角田字鱸沼 8. 10. " 沼南 67. 68の一部. 69-1の一部. " 野田 7-2. 8-3. 10-3. 11-2. " 町田 360. 361. 362-1. 362-2. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369-2. 370-2. 379-1. 449-2. 451. 452-2. 455-2. 小田字大山 43-2. " 黒内 13-1. " 戸ノ内 14-2. " 福田 126-1. 129-1. " 藤倉 55. " 割石 34-1. 34-4. 42-14.
	農 地	採草放牧地、農業用施設用地として区分した以外の区域

地区・区域 番号	区 域 の 範 囲	
B-2	<p>農業用施設用地</p> <p>角田字西田 105-1.      " 老ヶ崎 69-4.      豊室字市之亟 47-4. 47-24.      " 大江南 97-7.      " 沼頭 15-2. 83-1. 83-2.      " 豊里 131.      横倉字左関 326-1. 327-1.      佐倉字下川原 63. 64-2. 65-1. 65-2.      " 玉木 18. 33-1. 33-2. 62-1. 63-1. 64-2. 65-2.      " 中川原 178. 179.      " 中川原東 8-1.      " 二反丁北 19-2.      " 萱場 14-1.      " 北田 110.      笠島字東ヶ崎 19-1.      " 中 235-2.      " 八神 11-3. 11-7. 11-9.      高倉字小原田 22の一部.      " 沢尻 6-5.      " 沢田 36-2. 36-4. 42-2. 51-2.      " 五月田 64.      " 沼ノ入 40. 41. 42-1の一部. 44-1. 53.      " 山田 169-1.      " 湯沢 3.      " 上代 24.      稲置字北谷地 29-1.      " 狐崎 14.      " 小針前 38-1.      " 荒神 29~38-1.      毛萱字館下 18-8.      " 諏訪前 76.      花島字川端 108-1. 111-1.      " 宮前 65-1. 65-2. 86. 88-1. 88-2.      " 柳花 67.      江尻字土手西 81.      岡字穴ヶ崎 21-1. 35.      " 岡前 293-5.      " 小沢田 43. 58. 75-2. 75-3. 76. 77. 77-1. 78-1.          78-2. 79. 84-1. 96-1. 132-1. 134-1.      " 小長 1-1. 2~7-1. 8-1. 9-1. 9-2. 10-1. 11~12-2. 13. 14-1.          15-1. 16-1. 17-1.</p>	採草放牧地、農業用施設用地として区分した以外の区域
B-3	農 地	採草放牧地、農業用施設用地として区分した以外の区域



地域指定年度	昭和 44 年度
計画策定年度	昭和 45 年度
計画見直し年度	昭和 49 年度
	昭和 55 年度
	昭和 60 年度
	平成 11 年度
	平成 17 年度
	平成 27 年度
	令和 6 年度
市コード	208

# 角田農業振興地域整備計画に関する 基礎調査資料

令和 6 年 10 月

宮 城 県 角 田 市



## 目 次

第1 地域の概況	59
1 人口及び産業経済の動向及び見通し	59
(1) 総人口、世帯数及び産業別就業人口の動向及び見通し	59
(2) 産業別生産額の動向及び見通し	60
2 地域の開発構想	61
(1) 地域の開発構想	61
(2) 地域の雇用機会の現状及び構想	61
3 農業関係法令に基づく各種農業振興計画の概要	62
4 農業関係以外の法令に基づく地域等の指定状況	63
第2 農業生産の現況及び見通し	64
1 重点作物の概要	64
2 農業生産の動向及び見通し	67
第3 土地利用の現況及び見通し	67
1 農業振興地域の土地利用の動向及び見通し	67
第4 農業生産基盤の現況及び見通し	68
1 農地の整備率	68
2 農業生産基盤の整備開発に係る各種事業の実施状況	69
農業生産基盤整備状況図	別添
第5 農用地等の保全及び利用の現況及び見通し	74
1 経営体数の動向及び見通し	74
2 耕地の拡張及びかい廃	74
3 農用地等の保全整備に係る各種事業の実施状況	75
農用地等保全整備状況図	別添
4 農用地利用集積の現況及び見通し	76
5 権利移動の動向一農用地等の流動化諸方策別	76
6 農作業の受委託及び共同化、地力の維持増進、耕地利用率、裏作導入等の動向	76
7 農用地に関する規模拡大等希望戸数及び面積	77
第6 農業近代化施設整備の現況及び見通し	80
農業近代化施設整備状況図	別添

第 7 農業就業者育成・確保の現況及び見通し	81
1 新規就業者の動向及び見通し	81
2 農業就業者育成・確保施設の状況	81
第 8 就業機会の現況及び見通し	82
1 農業従事者の就業の動向及び見通し—専兼業等別	82
2 農業従事者の就業の現況—他産業別	82
3 農村産業法等に基づく開発計画の概要	82
4 農業従事者に対する就業相談活動の現況	82
5 企業誘致及び企業誘致活動の現況	82
第 9 農村生活環境の現況及び見通し	83
1 農村生活環境整備事業等の実施状況	83
農村生活環境整備状況図	別添
2 農村生活環境整備の問題点	83
第 10 森林の整備その他林業の振興との関連に関する現況及び見通し	85
1 林業の概況	85
2 農業振興と林業振興の関連に関する現状と問題点	85
3 林業の振興に関する諸計画の概要	86
第 11 地域の諸問題の解決を図るための各種の協定、申合せ等の実施状況	86
1 協定制度の実施状況	86
2 交換分合	86
第 12 農業及び農村の振興及び整備のための推進体制等	87
1 推進体制図	87
2 市の財政状況	88

## 第1 地域の概況

### 1 人口及び産業経済の動向及び見通し

#### (1) 総人口、世帯数及び産業別就業人口の動向及び見通し

本地域の総人口等は、表に示すように令和2年において、27,976人、総世帯数は10,276戸で、平成22年に比べて人口で10.7%の減少、総世帯数では1.9%の増加である。

本市の人口は、旧町村合併前の昭和25年の37,376人をピークに年々減少し、一時期増加に転じたものの、近年は平成2年の35,431人を頂点に再び減少している。

農家世帯数では、表に示すように減少の一途をたどっており、平成22年は2,559戸であったが、令和2年には1,646戸となった。市の人口の減少が見られる中、かつて就業人口は増加傾向で推移していたが、近年は再び減少傾向になっている。農業就業人口については、高齢化や農作物価格の低迷等が原因で年々減少し、令和2年には1,030人、総就業人口に占める割合は7.4%である。

今後の人団については、出生者の減少傾向が続くと予想され、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和12年の人口は25,142人と推計されているが、令和4年3月に策定された角田市第6次長期総合計画（以下「長期総合計画」という。）では、定住・移住人口の確保を図ることにより25,654人を目標にしている。

効率的な生産体制の確立のため、大区画ほ場整備事業の推進など生産基盤の整備を進めるとともに、実質化した人・農地プランをふまえ、合理的な農地利用に基づく経営基盤の強化と農業構造の再編、農地の集約化を目指す一方、農家世帯数及び農業就業人口については、現在の減少基調がそのまま続くと見込まれており、令和12年においては農家世帯数1,338世帯、農業就労人口907人と推計されている。

単位：人、世帯、%

総人口	総世帯数	産業別就業人口						
		うち農家	総就業人口	第1次産業		第2次産業	第3次産業	
				うち農業	うち農業			
平成22年 (10年前)	31,336	10,082	2,559	14,327	1,073	1,045	5,714	7,540
	100%	100%	25.4%	100%	7.5%	7.3%	39.9%	52.6%
平成27年 (5年前)	30,180	10,398	2,152	14,085	1,099	1,066	5,528	7,458
	100%	100%	20.7%	100%	7.8%	7.6%	39.2%	53.0%
令和2年 (現況)	27,976	10,276	1,646	13,899	1,065	1,030	5,249	7,585
	100%	100%	16.0%	100%	7.7%	7.4%	37.7%	54.6%
令和12年 (見通し)	25,142	9,311	1,338	12,263	944	907	4,574	6,745
	100%	100%	14.3%	100%	7.7%	7.4%	37.3%	55.0%

資料：国勢調査、農林業センサス、長期総合計画

注) 令和12年(見通し)の人口は、長期総合計画(人口ビジョン)より引用。

令和12年(見通し)の農家世帯1,338世帯は、令和3年実施のアンケートでの推計。農業世帯には「販売農家」「自給的農家」が含まれる。

## (2) 産業別生産額の動向及び見通し

本地域の産業別生産額の推移で見ると、近年の世界情勢の影響を受けながらも令和2年の総生産額は145,727百万円で、平成22年に比して5.7%の増となっている。

これを産業別生産額の構成比で見ると、第1次で6.1%の増、第2次で1.1%の増、第3次で12.5%の増となっている。総生産に占める割合は第2次及び第3次は、それぞれ56.2%、42.0%に達している。

このように地域産業の伸長基盤が第2次及び第3次へと移行し、同時に産業構造も第2次及び第3次産業を中心とするものに定着していることを示している。

令和12年の市内総生産額は、令和2年の1.2倍に当たる177,557百万円を見込んでいる。第1次においては、米価や農産物価格の低迷、耕作放棄地の増加、農業従事者の高齢化等の要因は続くものと予想されるが、農地の集積など合理的な農地利用に基づく経営基盤の強化と農業構造の再編を目指すとともに、水稻以外に高収益な作物・作型を加え、さらに畜産複合経営による生産体制の強化を図ることで産業構造の変化に対処し、3,018百万円を見込むものとする。

単位：百万円、%

△	産業別生産額				
	総生産額	第1次		第2次	第3次
		うち農業			
平成22年 (10年前)	137,871	2,424	2,350	81,065	54,382
	100%	1.8%	1.7%	58.8%	39.4%
平成27年 (5年前)	136,000	2,065	2,012	72,837	61,098
	100%	1.5%	1.5%	53.6%	44.9%
令和2年 (現況)	145,727	2,572	2,506	81,984	61,171
	100%	1.8%	1.7%	56.2%	42.0%
令和12年 (見通し)	177,557	3,018	2,968	98,190	76,349
	100%	1.7%	1.7%	55.3%	43.0%

資料：市町村民経済計算

※ 令和2年統計の公表が令和5年6月である。そこからの基準を5年前(平成27年)、10年前(平成22年)とした。

注)「令和12年見通し」は推計値。

## 2 地域の開発構想

### （1）地域の開発構想

本市は、阿武隈川流域に位置する田園都市として発展してきたが、若年層の流出や第1次産業就業者の減少などにより衰退傾向にある中、人口の減少が進み、仙南圏域の中心都市としての役割は低下してきた。

こうした事態に対処するため、積極的な企業誘致による雇用の創出を図り、昭和40年代後半からは人口増加に転じた。さらにこの間、阿武隈急行線の全線開通に伴う市街地の開発や道路、下水道事業などの都市基盤整備が進められてきた。しかし、少子化と高齢化の進行、都市への一極集中等という人口動態の中で、従来の視点に基づいた都市づくりは、大きな転換期を迎えている。

令和4年3月に策定した長期総合計画においては、10年後の角田市のあるべき都市像を「市民力咲き誇る角田市✿～安心していきいきと、誇らしく暮らせるまち～」と位置付け、SDGsが目指す持続可能な社会の実現のため、市民がゆとりある生活を送ることのできる市街地の形成や都市機能の充実を図るとともに、恵まれた自然環境を生かし、物心両面の豊かな生活を営める地域づくりを目指していく。

そのためには、道の駅かくだ等の施設の有効活用、土地利用の状況や環境特性を踏まえ、各地域の活性化に結びつく計画的な土地利用の誘導が必要と思慮され、都市全体のバランスがとれた発展と個性的な地域づくりを進めることにしている。

### （2）地域の雇用機会の現状及び構想

現在の本地域の総就業人口は13,899人（令和2年国勢調査）。産業別では、第1次産業が1,065人、第2次産業が5,249人、第3次産業が7,585人となっている。農業就業人口は1,030人で、平成22年の1,045人から15人減少している。

今後の見通しとして、農業経営においては、ますます農業外収入の必要性が増すものと思われる。少子高齢化の進展、若年層の労働力が減少する状況で、大規模な企業誘致は困難が予想されるが、既存誘致企業との情報共有と規模拡大の支援、新たな企業誘致を引き続き行うとともに、関係機関との連携のもと、定住を見据えた就労機会を確保し、雇用の安定を図るものとする。

一方、本地域では従来から農産物加工部門に力を入れており、減塩梅干やハム・ソーセージ等の生産が行われ、農業者の雇用確保を図ってきた。

さらに、道の駅かくだをはじめとする農産物直売所を核にして、産直交流の発展に努め、高齢者や女性等の労働力を活用できる地域完結型の就労策を講ずるものとする。

### 3 農業関係法令に基づく各種農業振興計画の概要

計画等名	地域指定・計画策定等年度	指定地域等の範囲	内容
農村総合整備計画	昭和 50 年度計画策定	角田市	農村地域の生活環境整備計画
野菜指定産地	昭和 41 年度地域指定	角田市・伊具郡	野菜生産出荷安定法に基づく夏秋きゅうり指定産地
蔵王集約酪農地域	平成 8 年度地域指定	角田市ほか	酪農振興法に基づく指定
果樹農業振興計画	平成 13 年度計画策定	角田市ほか 仙南全市町村	果樹農業振興特別措置法に基づき県が定めた計画で、りんご、もも、日本なし、くりの生産団地を形成し、果樹の振興を図る計画
仙南広域営農団地整備計画	平成 16 年度計画策定	角田市ほか 仙南全市町村	農業振興地域の整備に関する法律に基づき県が定める広域的農業振興計画で、米、肉豚、牛乳、鶏卵、繭、野菜を基幹作物とし、これらの生産流通の合理化を図る計画
高能率生産団地整備計画	昭和 52 年度計画策定	角田市	農業団地育成対策基本構想に基づき、水稻、果樹（りんご、日本なし）、養豚、夏秋きゅうり、こんにゃく、繭を対象作物とし、これらの近代化施設、生産基盤の整備及び生産組織の育成等を図り、生産性の高い生産団地を形成することを目的とした計画
農業生産総合振興計画	平成 10 年 3 月計画策定	角田市	農業生産総合推進対策に基づき、麦、大豆、飼料作物や園芸、畜産の全般にわたる生産拡大と転作の定着化を推進する計画
角田市酪農肉用牛生産近代化計画	令和 3 年度計画策定	角田市	酪農振興法の改正に伴い、酪農経営と肉用牛経営が密接に関連していることから酪農の発展と整合性を取り入れながら肉用牛生産の振興を図る計画

角田市森林整備計画	令和3年4月策定	角田市	市の統合的森林の整備を推進する計画
-----------	----------	-----	-------------------

#### 4 農業関係以外の法令に基づく地域等の指定状況

地域等の名称	指定等年月日	根拠法令
角田市第6次長期総合計画	令和4年3月	地方自治法
都市計画用途地域	昭和43年3月18日 昭和48年12月15日 昭和55年7月29日 昭和56年10月31日 平成7年4月3日 平成17年6月1日 平成26年5月1日	都市計画法
仙南地域広域市町村圏計画	昭和46年3月 昭和55年3月	地方自治法
低開発地域開発地区仙南地区	昭和37年	低開発地域促進法

## 第2 農業生産の現況及び見通し

### 1 重点作目の概要

本地域の自然及び社会的条件、農業生産実績、今後の農産物の需要を見通し、かつ、米の過剰基調に伴う生産調整に取り組み、米依存型経営からの脱却を図り、地域複合経営を営農の基本とし、重点作目を次のとおり選定する。

なお、栽培体系及び地域の特性を生かすことなど考慮して、重点作目を多品目に選定したため、重点基幹作目と重点補完作目に区分する。

#### 〔1〕 重点基幹作目

##### (1) 水稲

水稻は当地域の中心作目であり、経営的な基幹作目となっている。今後も米は、農業生産の中では生産比重が低下するものの、当地域農業の基盤であり、重点作目に選定し、生産性向上による良質な米づくりに努めるものとする。

現在、消費者のニーズに合わせた減農薬減化学肥料栽培米（ふるさと安心米、こだわり米）は、約 1,177ha 栽培（資料：JA みやぎ仙南・令和 4 年度角田市ふるさと安心米生産組合協議会総会資料）している。

一方、生産から販売までを行う農業者にあっては、一定規模の消費者への販売を確保している生産者は安定した販売を行っているが、他方では販売先の確保について不十分な面があり、さらなる販売先の拡充ができない面もある。

##### (2) 麦

本市で生産されている麦類のほとんどは大麦である。令和 2 年産麦類の水田転作地への作付けは約 92 ha。うち大麦が 73 ha の作付けで、畑地への作付けは 15 ha となっている（資料：角田市農林振興課農政係）。

生産物は安定的な取引がされているが、作付けのほとんどが水田転作地であることから、湿害対策を行う必要がある。さらなる品質の向上と収穫量の増大を図るうえで、水田の乾田化の推進が必要となっている。

##### (3) 大豆

現在作付けされている大豆は、令和 4 年産では水田転作地への作付けは約 145 ha である（資料：角田市農林振興課農政係）。

大豆の主な流通については、全農みやぎを経由し、豆腐、油揚げ、醤油、みそ等の加工実需者へ販売している。

##### (4) 野菜

###### イ) きゅうり

昭和 41 年に夏秋きゅうりの産地指定を受け、その後、平成 15 年に JA みやぎ仙南へ広域指定産地に移行している。地域の自然的、社会的条件から見て、

重点作目として選定し、産地づくりを推進する。

ロ) 莓

苺のハウス栽培は、生産量及び生産額は安定して推移している。今後も当地域の適地作目として生産拡大を図り、産地づくりを推進する。

ハ) ブロッコリー

当地域においては生産者が多く、圏域内の主力産地としての位置付けも確立されている。今後も集落営農強化の重点品目として、生産の拡大と振興を図る。

二) トマト

トマトのハウス栽培は、生産量及び生産額は安定して推移している。今後も当地域の適地作目として、生産拡大を図り、産地づくりを推進する。

ホ) 軟弱野菜

当地域の温暖な気候条件を生かし、施設栽培と露地栽培を組み合わせ、葉菜類を主体に需要の動向を見通しながら、生産の拡大を図る。

(5) 畜産

イ) 豚

以前は、バークシャー種の血統を入れた「角田の黒豚」として生産・出荷し、黒豚ソーセージなどに加工してブランド化を図り、飼養頭数を増やしてきた。近年では、生産性の高いLWD種を「めぐみ野ポーク」として出荷をしてきている。しかしながら、飼料価格や資材の高騰の恒常化等による経営の先行き不安や、後継者不足などの理由により、飼養農家数や飼養頭数が減少している。

ロ) 肉牛

牛肉の消費の動向を見ると、近年の和牛ブームもあって消費量・飼養頭数が増加してきている。また、平成29年度には、第11回全国和牛能力共進会が宮城県で開催され、宮城県産和牛が上位入賞したことによって知名度が上がり、好条件での取引が期待される。また、令和4年には角田の雄牛が基幹種雄牛に認定される等、和牛改良が進んでいる。この状況を堅持し、和牛産地として確立を図るため、引き続き優良雌牛の導入による和牛改良等の強化策を推進する。

また、地域複合経営を推進するうえで畜産部門の拡大が必要であり、今後重点作目として積極的な推進を図る。

ハ) 乳牛

乳牛の飼養農家数は減少しているものの、蔵王山麓の牛乳主産地の一つとして、広域的な面から、酪農近代化計画のもとでブランド化の推進を含めた振興に努めている。また、飼料基盤としての草地造成については既に完了しているが、飼料用作物の地域内主産地としての取り組みを強化する観点から、重点作目として振興を図る。

## (6) 果樹

### イ) 日本なし

農地造成によって大部分が団地化され、集約的な経営体制の確立が図られている。商品性の高い樹種が主体であり、樹齢が収穫期に入っていることから安定的な収量が確保されており、当地域の重点作目として振興を図る。

### ロ) りんご

当地域の果樹部門では、日本なしに次ぐ中心的作目の一であり、新品種の導入、経営規模の拡大を図り、重点作目として振興を図る。

### ハ) 梅

当地域の複合経営の中で、地域内生産物の付加価値を高めて販売する農産加工部門の推進が必要である。梅については、農産加工品としての生産体制がある程度確立されていることから、当地域の重点作目として振興を図る。

## (7) 農産加工

地域複合経営の中で多種多様に生産される農産物に着目し、それに加工を加えて付加価値を高めて販売する農産加工部門を重点作目として選定する。

特に、梅干加工については定着しており、これに加えて野菜、大豆（味噌）、畜産物の加工に力を入れていく。

## 〔2〕 重点補完作目

### (1) 野菜

ピーマン、ナス等の果菜類の拡大を目指す一方、パセリ、ツルムラサキ、ツボミナ等の軽量野菜を選定し、地域の土壤条件や気候条件、道の駅かくだの販売力を生かし、基幹作目として生産から販売の一貫体制を確立して産地化を図る。

### (2) 花き

本地域は、露地・ハウス菊、切り花が主流であり、今後は需要の動向をみながら品種を定めて栽培体系の確立を図るとともに、産地づくりに努め、本地域の集約型農業としてその育成を図る。

### (3) 果樹

主力でもある日本なし、りんご、梅に加え、桃、ブドウ、ブルーベリー等の栽培を進める。

## 2 農業生産の動向及び見通し

作物別にその動向を見ると、米は平成 22 年との比較で作付面積は減少しているが、その要因は、従来の担い手農業者の高齢化と米価の低迷によるものである。麦・豆類についても、米と同様に減少傾向である。

野菜では、指定産地である夏秋きゅうりや、振興作物であるブロッコリーは本地域の基幹作目として定着している。いちごの作付面積は横ばいであるが、単位収量を順調に伸ばしており、本地域の基幹作目として定着している。

果樹については、日本なし、りんごとも安定生産期に入っているが、生産者の高齢化や後継者不足のため、栽培面積、収量ともに減少している。今後は、栽培技術の向上や省力化等により、高能率な生産体制の構築を目標とする。

畜産については、家畜飼養頭羽数は平成 22 年と比較して乳牛、豚、鶏卵は減少傾向にあるが、肉用牛は伸びている（作物統計調査）。今後は、畜産における専業化の定着を目指し支援していくこととする。

単位：ha、頭、千羽、t

作目	平成 22 年 (10 年前)		平成 27 年 (5 年前)		令和 2 年 (現況)		令和 12 年 (見込)(10 年後)	
	作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量	作付面積 飼養頭数	生産量
米	2,450	12,700	2,270	12,400	2,340	12,700	2,340	12,700
麦	139	382	141	581	107	405	107	405
大豆	355	373	250	223	213	151	213	151
乳用牛	844	—	607	—	466	—	466	—
肉用牛	1,721	—	2,344	—	2,746	—	2,746	—
豚	2,158	—	1,636	—	855	—	855	—
採卵鶏	54	—	41	—	40	—	40	—

資料：作物統計調査（平成 22 年、27 年、令和 2 年）

作物統計調査「—」は記載がないため不明。12 年は現状維持と推計。

## 第3 土地利用の現況及び見通し

### 1 農業振興地域の土地利用の動向及び見通し

地域総面積 147.53 km<sup>2</sup>のうち、令和 4 年現在、4,812 ha を農業振興地域内の農用地とし、農業生産の向上及び優良農地の保全に努める。このうち農業振興地域内の農地は 4,734 ha であり、農用地区域内農地は 3,432 ha である。

一部農地については、集落介在地や山地間に介在する農地を中心に荒廃農地および非農地化が進展しているものの、将来の集団性が発揮される農地等は、農業の基盤整備等の効率化を図るため、必要に応じて白地地域の農用地からの編入を進める。

採草放牧地は、農業振興地域内に 78 ha となっているが、うち農用地区域内に 53 ha となっている。農用地区域にあるものは、現在の面積を維持し、粗飼料の自給率向上と経営規模拡大を図り、畜産の振興を推進する。

単位 : ha、%

	総面積	農用地			農業用施設用地	小計	混牧林地以外の山林原野	住宅地	工場用地	その他
		農地	採草放牧地	計						
平成 26 年 (8 年前)	14,753	4,863	78	4,941	54	4,995	5,645	816	70	3,227
	100.0%	33.0%	0.5%	33.5%	0.4%	33.9%	38.2%	5.5%	0.5%	21.9%
平成 29 年 (5 年前)	14,753	4,765	78	4,843	54	4,897	5,644	823	70	3,319
	100.0%	32.3%	0.5%	32.8%	0.4%	33.1%	38.2%	5.6%	0.5%	22.5%
令和 4 年 (現況)	14,753	4,734	78	4,812	54	4,866	5,612	831	70	3,374
	100.0%	32.1%	0.5%	32.6%	0.4%	33.0%	38.0%	5.6%	0.5%	22.9%
令和 14 年 (見通し)	14,753	4,721	78	4,799	58	4,857	5,603	835	75	3,383
	100.0%	32.0%	0.5%	32.5%	0.4%	32.9%	38.0%	5.7%	0.5%	22.9%

資料 : ・角田市統計及び農用地・農業用施設用地は、確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況調査

・山林原野は、みやぎの森林・林業のすがた

・住宅地・工場用地は、税務課概要調書

※平成 24 年度（10 年前）のデータが不足しており、8 年前の平成 26 年度のデータを使用。

## 第4 農業生産基盤の現況及び見通し

### 1 農地の整備率

地目	現況(令和 4 年度)			目標(令和 14 年度)(10 年後)			備考
	全面積 (ha)	整備済面積 (ha)	整備率 (%)	全面積 (ha)	整備済面積 (ha)	整備率 (%)	
田	3,428	2,900	85	3,590	3,125	87	
畑	1,157	109	9	1,157	109	9	
樹園地	148	41	28	148	41	28	

資料 : 確保すべき農用地等の面積の目標の達成状況調査（令和 4 年度）

注) 1 市町村行政区域内の数字である。

2 田の整備率は、30 a 程度に整備された田の比率である。

3 畑、樹園地の整備率は、農道が幹線、支線とも完備されたものの比率である。

## 2 農業生産基盤の整備開発に係る各種事業の実施状況

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業着工完了年度	対図番号
区画整備	1,167	11,946,000	角田地区 区画整理 1,167ha 暗渠排水 1,143ha 農道舗装 28,472m、揚水機場 3ヶ所	宮城県	S48 ～ H4	1
	31.1	452,900	毛萱地区 区画整理 31.1ha 暗渠排水 31.1ha 集落道 258m、揚水機場1ヶ所 防災安全施設1ヶ所	宮城県	H5 ～ H9	2
	31.5	497,000	西根地区 区画整理 31.5ha 暗渠排水 31.1ha 揚水機場1ヶ所	宮城県	H8 ～ H12	3
	24.9	523,600	日向前地区 区画整理 24.9ha 暗渠排水 23.2ha 集落道 368m、揚水機場1ヶ所 農村公園1ヶ所	宮城県	H9 ～ H14	4
	43.0	565,700	長瀬地区 区画整理 43.0ha 暗渠排水 31.1ha	角田土地 改良区	S54 ～ S61	5
	2.0	35,743	本町地区 区画整理 2.0ha	角田土地 改良区	S56 ～ S58	6
	2.2	37,468	内田地区 区画整理 2.2ha	角田土地 改良区	S56 ～ S58	7
	2.5	63,404	山田沢地区 区画整理 2.5ha	角田土地 改良区	S56 ～ S58	8
	1.6	30,302	釜前地区 区画整理 1.6ha	角田土地 改良区	S56 ～ S58	9
	9.6	91,000	小針地区 区画整理・暗渠排水 9.6ha	角田土地 改良区	S57 ～ S58	10
	1.7	24,000	神鳴地区 区画整理・暗渠排水 1.7ha 揚水機場1ヶ所	角田土地 改良区	S59 ～ S60	11
	3.5	34,400	町裏地区 区画整理 3.5ha 暗渠排水 2.5ha	角田土地 改良区	S61	12
	5.8	78,000	無笹木地区 区画整理・暗渠排水 5.8ha	角田土地 改良区	S62 ～ S63	13
	18.5	235,200	東神地区 区画整理 18.5ha	共同施行	S58 ～ S63	14

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業着工完了年度	対図番号
農用地造成事業	16.97	—	豊室地区 樹園地造成	角田市農業協同組合	S49～S53	15
	14.6	—	第2豊室地区 樹園地造成	宮城県農業公社	S57～S62	16
	10.1	—	第3豊室地区 樹園地造成	共同施行	S62～H3	17
かんがい排水事業 (隈西)	34.61	24,000	日向地区 揚水機場1ヶ所 用水路3,085m	角田土地改良区	S50	18
	17.2	95,600	江西地区 暗渠排水 17.2ha 用排水路工装3,179m 区画整理 4.7ha	角田土地改良区	S61	19
	15.9	84,000	細谷地区 暗渠排水 15.9ha 用排水路工装3,361m 区画整理 6.8ha	角田土地改良区	S62	20
	6.7	52,000	神町地区 暗渠排水 6.7ha 用排水路工装1,938m 区画整理 4.1ha	角田土地改良区	S56～S60	21
	10.7	38,900	元鱸沼地区 暗渠排水 10.7ha 客土 1.5ha	角田土地改良区	H1～H2	22
	20.7	132,600	稻置地区 暗渠排水 20.7ha 用排水路工装5,345m 揚水機場1ヶ所	角田土地改良区	H2～H3	23
	803	2,756,900	角田地区 用排水路工装13,552m 揚水機場3ヶ所	宮城県	S50～H3	24
	889	1,475,300	隈西地区 用水路 5,195m 揚水機場1ヶ所	宮城県	S52～S63	25
	3,460	14,800,000	角田地区 排水機場2ヶ所 排水路改修 9,300m	国	S59～H7	26

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業着工完了年度	対図番号
区画整理 ・草地造成事業	58.0	185,033	平貫地区 区画整理 58.0ha	角田隈東 土地改良区	S47 ～ S51	27
	51.0	81,911	坂津田地区 区画整理 51.0ha	角田隈東 土地改良区	S44 ～ S47	28
	148.8	224,987	北谷地地区 区画整理 148.8ha	角田隈東 土地改良区	S43 ～ S47	29
	1.8	1,600	峯地区 区画整理 1.8ha	角田隈東 土地改良区	S45	30
	139.0	289,568	藤田地区 区画整理 139.0ha	角田隈東 土地改良区	S48 ～ S52	31
	72.3	43,000	大谷地区 区画整理 72.3ha	角田隈東 土地改良区	S39	32
	61.0	281,185	島田地区 区画整理 61.0ha	角田隈東 土地改良区	S53 ～ S57	33
	18.7	141,906	真菰地区 区画整理 18.7ha	角田隈東 土地改良区	S58 ～ S63	34
	30.1	194,728	北新地区 区画整理 30.1ha	角田隈東 土地改良区	S63 ～ H3	35
	17.8	67,720	角田(品濃)地区 区画整理 17.8ha	角田隈東 土地改良区	S54 ～ S55	36
	7.0	6,500	賀川地区 区画整理 7.0ha	角田隈東 土地改良区	S46	37
	4.5	4,000	吉原地区 区画整理 4.5ha	角田隈東 土地改良区	S47	38
	19.4	—	小田地区 草地造成	共同施行	S54 ～ S62	39
	3.4	128,374	林田地区 区画整理 3.4ha	角田隈東 土地改良区	S57	40
かんがい 排水事業 (隈東)	8.6	37,370	是入地区 排水路 2,103m 暗渠排水 8.6ha	角田隈東 土地改良区	S56	41
	5.7	38,380	塩の作地区 排水路 2,201m 暗渠排水 5.7ha	角田隈東 土地改良区	S56	42
	17.3	43,026	北根前地区 排水路 1,904m 暗渠排水 17.3ha	角田隈東 土地改良区	S57	43
	15.6	46,662	半田地区 排水路 2,386m 暗渠排水 15.6ha	角田隈東 土地改良区	S57	44

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業着工完了年度	対図番号
かんがい 排水事業 (隈東)	16.2	66,660	源内地区 排水路 3,012m 暗渠排水 16.2ha	角田隈東 土地改良区	S58	45
	11.0	46,460	春日地区 排水路 2,503m 暗渠排水 11.0ha	角田隈東 土地改良区	S58	46
	6.0	58,580	小中田地区 排水路 2,538m 暗渠排水 6.0ha	角田隈東 土地改良区	S58	47
	19.2	66,600	竹ノ内地区 排水路 2,885m 暗渠排水 19.2ha	角田隈東 土地改良区	S59	48
	17.4	85,850	三島地区 排水路 2,761m、用水路 4,378m 暗渠排水 17.4ha	角田隈東 土地改良区	S59	49
	17.0	95,950	北田地区 排水路 2,657m、用水路 3,007m 暗渠排水 17.0ha	角田隈東 土地改良区	S59	50
	17.1	71,710	大橋地区 排水路 2,958m 暗渠排水 17.1ha	角田隈東 土地改良区	S60	51
	14.9	64,642	新田地区 排水路 2,160m、用水路 1,882m 暗渠排水 14.9ha	角田隈東 土地改良区	S60 ～ S61	52
	9.1	26,260	碇地区 排水路 707m、用水路 662m 暗渠排水 9.1ha	角田隈東 土地改良区	S61	53
	12.0	42,420	風呂前地区 排水路 1,775m、用水路 676m 暗渠排水 12.0ha	角田隈東 土地改良区	S61	54
	10.0	37,926	松橋地区 排水路 1,115m、用水路 1,094m 暗渠排水 10.0ha	角田隈東 土地改良区	S62	55
	8.1	43,834	川前地区 排水路 1,627m、用水路 1,413m 暗渠排水 8.1ha	角田隈東 土地改良区	S62	56
	9.8	43,430	大谷地区 排水路 1,447m、用水路 1,663m 暗渠排水 9.8ha	角田隈東 土地改良区	S63	57
	8.0	56,560	町田地区 排水路 2,286m、用水路 1,443m 暗渠排水 8.0ha	角田隈東 土地改良区	S63	58
	4.6	48,884	南中山地区 排水路 1,913m、用水路 997m 暗渠排水 4.6ha	角田隈東 土地改良区	H2	59
	43.5	65,550	松橋地区 用水路 1,210m	角田隈東 土地改良区	H8 ～ H9	60

事業種目	受益面積(ha)	事業費(千円)	主要工事の名称及び事業量	事業主体	事業着工完了年度	対図番号
かんがい排水事業(隈東)	2.5	27,900	吉田地区 排水路 932m、用水路 780m 暗渠排水 2.5ha	角田隈東土地改良区	H2	61
	9.9	66,000	校前地区 排水路 1,521m、用水路 1,480m 暗渠排水 9.9ha	角田隈東土地改良区	H5～H6	62
	33.1	184,834	大谷地区 用水路 2,613m、揚水機場 2ヶ所	角田隈東土地改良区	H8～H10	63
	9.2	52,800	林田堤地区 排水路 1,644m、用水路 2,011m 暗渠排水 9.2ha	角田隈東土地改良区	H2	64
	1,436	608,286	隈東地区 機場整備補修 3基外	宮城県	H9～H18	65
	1,636	368,500	隈西地区 機場整備補修 3基外	宮城県	H9～H18	66
	82	131,330	光目内地区 用水路 1,140m 揚水機場 2ヶ所	角田隈東土地改良区	H10～H12	67
	27	104,800	野田地区 排水路 898m	角田市	H9～H12	68
	148.5	891,500	藤田地区 用排水路 21.2km 暗渠排水 3.5ha	宮城県	H9～H15	69
	34	142,000	日向ため池改修 堤体改修 L=70m	角田隈東土地改良区	H13～H20	70
農道整備	6,032	10,185,000	毛萱地区 仙南東部広域農道 L=11,300m	宮城県	H1～H23	71
	2	2,000	高倉地区 農道整備 L=590m	角田市	H13～H20	72
	12.4	5,000	岡地区 農道整備 L=960m	角田市	H13～H20	73
	2.7	3,000	南岡地区 農道整備 L=490m	角田市	H13～H20	74
ほ場整備事業	211.3	2,327,000	枝野地区 区画整理 211.3ha (担い手育成型県営ほ場整備)	宮城県	H10～H20	75
	78.8	2,085,000	尾袋川東地区 区画整理 78.8ha (農業競争力強化農地整備)	宮城県	R3～R11	76

資料：農林振興課農林土木係（令和4年度）

農業生産基盤整備状況図 別添

## 第5 農用地等の保全及び利用の現況及び見通し

### 1 経営体数の動向及び見通し

令和2年現在、当地域の農業経営体は1,061戸で、平成22年と比較して887戸(45.5%)減少している。このような状況から、今後も減少傾向が続く見込みであり、目標年次の令和12年には932戸となる見込みである。

しかし、当地域の基幹産業である農業を維持拡大するため、個別、団体あわせて認定農業者190経営体の確保が必要と見込まれていることから、各経営体の経営耕地規模の拡大と農地の集積を図ることが求められる。なお、経営耕地規模別の経営体数の推移を見ると、急速な動向が見られ、20ha以上の階層においても増加傾向にある。担い手への集約は確実に進んでいる動向が見て取れる。

単位：経営体

総経営体	農業経営体		経営耕地規模別							
	家族経営体	団体経営体	0.5ha未満	0.5～1.0ha	1.0～3.0ha	3.0～5.0ha	5.0～10ha	10～20ha	20ha以上	
平成22年 (10年前)	1,948	1,919	29	268	581	895	97	66	29	12
平成27年 (5年前)	1,535	1,511	24	195	464	669	88	57	44	18
令和2年 (現況)	1,061	1,037	24	172	271	422	69	57	38	32
令和12年 (10年後)	932	902	30	160	219	370	55	55	38	35

資料：農林業センサス（平成22年、27年、令和2年）令和12年は、推計

### 2 耕地の拡張及びかい廃

単位：ha

拡張	かい廃	人為かい廃						
		自然害	非農林業用途への転用	農林道等植林	耕作放棄	その他		
平成24年 (10年前)	—	3.0		3.0	2.8		0.2	
令和4年 (現況)	—	24.0		24.0	7.8		16.2	
令和14年 (10年後)	—	45.0		45.0	12.8		32.2	

資料：角田市農業委員会（令和4年度）

### 3 農用地等の保全整備に係る各種事業の実施状況

事業種目	受益面積 (ha)	事業費 (千円)	主要工事の名称 及び事業量	事業主体	事業の 着工完了年度	対図 番号
ため池 整備事業	2.5	—	引田地区 堤体工	角田市	S33	77
	7.5	10,330	六郎田地区 取水施設工	角田市	H5 ～ H6	78
	13.9	45,019	山上地区 堤体工、樋管	角田市	S63 ～ H5	79
	14.6	2,900	宮沢地区 堤体工、樋管	角田市	S62	80
	22.5	—	猿田地区 堤体工、樋管	宮城県	R2	81
	26.6	—	新田地区 堤体工、樋管	角田市	S60	82
	9.8	2,900	後田地区 堤体工、樋管	角田市	S62	83
	18.1	57,601	赤生地区 堤体工、樋管	角田市	S63 ～ H4	84
	15.0	—	仙石地区 堤体工	宮城県	H27 ～ H30	85
	19.0	—	諏訪部地区 堤体工	宮城県	R1	86

資料：農林振興課農林土木係（令和4年度）

農用地等保全整備状況図 別添

#### 4 農用地利用集積の現況及び見通し

単位 : ha、%、人

		令和 2 年 (現況)	令和 12 年 (10 年後)
扱い手の耕作面積計	①	2,308	3,969
自作地			
借入地・特定作業受託地			
借入地			
特定作業受託地			
耕地面積	②	4,410	4,410
扱い手の農地利用集積率 (%)	③ = ① / ②	52.3	90.0
認定農業者数 (人)		177	190

資料 : 農林水産統計 (令和 2 年)

角田市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想

#### 5 権利移動の動向—農用地等の流動化諸方策別

単位 : ha

△	農地中間管理事業				農地移動適正化あっせん事業				利用権設定等促進事業				その他	
	売買		賃借		売買		賃借		所有権移転		利用権設定			
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
令和 2 年	-	-	201	87.57	-	-	-	-	48	13.5	-	-	-	-
令和 3 年	-	-	550	206.04	-	-	-	-	64	25.6	-	-	-	-
令和 4 年	-	-	425	174.70	-	-	-	-	61	27.9	-	-	-	-
計	-	-	1,176	468.31	-	-	-	-	173	67.0	-	-	-	-

資料 : 角田市農業委員会 (令和 4 年度)

#### 6 農作業の受委託及び共同化、地力の維持増進、耕地利用率、裏作導入等の動向

△	農作業の受委託		農作業の共同化		耕地利用率		裏作導入	
	戸	ha	組織	戸	%	ha		
平成 22 年 (10 年前)	58	115						
平成 27 年 (5 年前)	48	66						
令和 2 年 (現況)	149							

資料 : 農林業センサス (平成 22 年、平成 27 年、令和 2 年)

「全作業受委託」した場合を「農作業の受委託」とした。

令和 2 年のセンサスでは全作業の統計がなく、耕種部門・稻作で 149 戸の受託経営体の記載のみ。

## 7 農用地に関する規模拡大等希望戸数及び面積

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想（令和5年9月一部改正）に掲げる目標面積は3,969haである。

農業経営の基盤を目指し、農業を主体とする者が、地域における他産業従事者並みの生涯所得に相当する1戸別当たり年間農業所得450万円、年間労働従事者当たり2,000時間程度の水準達成を目標とした場合の利用集積目標として掲げている。

### 角田市農業振興地域整備計画に関する意向調査結果（抜粋）

#### （1）将来の農業経営に対する意向

単位：戸

地区	規模拡大したい	規模縮小したい	現状維持	離農したい	わからない	未記載	合計
角田	8	17	67	77	80	75	324
枝野	8	4	25	26	30	25	118
藤尾	6	5	50	27	34	38	160
東根	1	7	29	29	30	24	120
桜	2	10	38	33	27	27	137
北郷	15	8	58	55	41	56	233
西根	7	6	51	61	60	43	228
未記載			1		1	1	3
合計	47	57	319	308	303	289	1,323
%	3.6	4.3	24.1	23.3	22.9	21.8	100.0

資料：角田市農業振興地域整備計画に関する意向調査（令和3年8月実施）

#### （2）農業後継者の状況

単位：戸

地区	既に従事	継ぐ予定	本人の意思不明	後継者がいない	未記載	合計
角田	8	6	84	172	54	324
枝野	8	6	28	57	19	118
藤尾	5	14	39	66	36	160
東根	6	7	29	65	13	120
桜	4	5	43	66	19	137
北郷	12	12	53	126	30	233
西根	9	11	70	102	36	228
未記載				2	1	3
合計	52	61	346	656	208	1,323
%	3.9	4.6	26.2	49.6	15.7	100.0

資料：角田市農業振興地域整備計画に関する意向調査（令和3年8月実施）

(3) 集落内の農業経営を維持するための形態

単位：戸

地 区	個別経営を継続する	法人・営農組合等を組織する	わからない	その他	合 計
角 田	30	100	130	8	268
枝 野	24	41	31	3	99
藤 尾	17	55	49	6	127
東 根	10	55	37	3	105
桜	18	62	41	1	122
北 郷	20	88	83	4	195
西 根	17	75	86	10	188
未記載	1	1			2
合 計	137	477	457	35	1,106
%	12.4	43.1	41.3	3.2	100.0

資料：角田市農業振興地域整備計画に関する意向調査（令和3年8月実施）

(4) 集落内の農業経営を維持するための事業・施設等

単位：戸

地 区	農道整備	用水路整備	排水路整備	圃場整備	揚水施設整備	その他	合 計
角 田	65	70	40	57	15	36	283
枝 野	12	26	11	18	8	10	85
藤 尾	22	33	13	28	12	17	125
東 根	20	35	36	29	9	13	142
桜	31	33	14	31	3	6	118
北 郷	22	56	41	59	25	13	216
西 根	33	50	32	36	10	24	185
未記載	1						1
合 計	206	303	187	258	82	119	1,155
%	17.8	26.2	16.2	22.4	7.1	10.3	100.0

資料：角田市農業振興地域整備計画に関する意向調査（令和3年8月実施）

(5) 集落内の農業生産を維持するための共同施設等

単位：戸

地 区	育苗施設	大型機械	乾燥施設	集出荷場	その他	合 計
角 田	38	61	15	25	45	184
枝 野	17	28	3	10	10	68
藤 尾	25	25	5	14	18	87
東 根	24	21	20	12	13	90
桜	24	38	13	9	9	93
北 郷	27	43	15	25	22	132
西 根	36	40	18	13	27	134
未記載	1	1				2
合 計	192	257	89	108	144	790
%	24.3	32.5	11.3	13.7	18.2	100.0

資料：角田市農業振興地域整備計画に関する意向調査（令和3年8月実施）

(6) 農産物の加工・販売（6次産業化）の意向

単位：戸

地 区	味噌 加工	ジャム・ ジュース 加工	惣菜・ 弁当	漬物	米・麦・蕎 麦加工 (パン・菓 子・麺)	畜産物 加工 (肉・牛 乳・卵)	ずんだ 加工	その他	合 計
角 田	1	2	3	1	2			4	13
枝 野	2			1	2			1	6
藤 尾	3		1	4	1		1	3	13
東 根	2	3	3	2	3	1	1		15
桜	3	1	2	4	2		1		13
北 郷	2			2	3				7
西 根	5	1		2	1			1	10
未記載									
合 計	18	7	9	16	14	1	3	9	77
%	23.3	9.1	11.7	20.8	18.2	1.3	3.9	11.7	100.0

資料：角田市農業振興地域整備計画に関する意向調査（令和3年8月実施）

※意向調査は、令和3年8月実施。配布数2,161人、回収1,323人、回収率61.2%。

## 第6 農業近代化施設整備の現況及び見通し

項目	事業種目	受益面積(ha)	事業費(千円)	施設の概要		事業主体	事業着工完了(予定)年度	対図番号
				名称	数・規模			
生産関係施設	大規模協同育苗施設	100.0	13,117	育苗施設 簡易ハウス	1式 1式	角田市農業協同組合	S46	87
	農業近代化施設	13.9	9,753	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	古豊室水稻協業組合	S47	88
	農業近代化施設	31.5	10,830	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	平貫上水稻協業組合	S48	89
	農業近代化施設	17.4	11,465	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	鳩原水稻協業組合	S48	90
	農業近代化施設	37.9	9,786	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	平貫水稻協業組合	S48	91
	農業近代化施設	16.2	10,200	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	小針水稻協業組合	S49	92
	農業近代化施設	12.0	3,608	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	野田水稻協業組合	S49	93
	農業近代化施設	15.0	12,010	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	左関水稻協業組合	S50	94
	農業近代化施設	15.0	9,812	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	岡水稻協業組合	S50	95
	高能率集団営農推進施設	50.0	22,820	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	藤田水稻協業組合	S51	96
	農業近代化施設	15.0	18,887	育苗施設 ・作業場	1棟・1式	石川口水水稻協業組合	S52	97
	高位生産営農特別事業	100.0	12,739	乾燥機	7台	角田市農業協同組合	S58	98
	地力促進事業	17.4	6,941	堆肥舎 ・粉碎機	1棟・1式	鳩原水稻協業組合	S59	99
	地力促進事業	50.0	3,575	堆肥舎	1棟	藤田水稻協業組合	S59	100
流通加工施設	良質米中核団地育成	20.0	15,110	乾燥調整施設	1棟	笠島水稻協業組合	S59	101
	共同利用施設整備	10.0	9,404	乾燥調整施設	1棟	東根営農組合	S59	102
	畜産環境整備事業	18戸	770,897	堆肥センター(農業の館)	4棟・1式	角田市	H17～H18	103
	第1次農業構造改善事業	100.0	不明	ライスセンター	1棟・1式	角田市農業協同組合	S38	104
流通加工施設	転作促進対策特別事業	30.0	不明	野菜集出荷施設	1棟	角田市農業協同組合	S60	105
	経営基盤確立農業	100.0	200,000	ミニライスセンター管理棟	1棟・1式	(有)角田健士農場	H9～H10	106
	強い農業担い手づくり総合支援(被災产地施設支援)事業	278.4	1,087,900	穀類乾燥調製貯蔵施設(カントリーエレベーター)	1棟・1式	みやぎ仙南農業協同組合	R2～R3	107

## 第7 農業就業者育成・確保の現況及び見通し

### 1 新規就業者の動向及び見通し

単位：人

	新規就農者				新規青年就農者(A+B)	
	新規学卒就農者(A)	離職就農者				
		39歳以下(B)	40歳以上			
平成29年(5年前)	1	—	1	—	1	
令和4年(現況)	—	—	—	—	—	
令和5年～14年(見通し)	20	5	15	10	5	
					15	

資料：新規就農者調査名簿（平成29年度、令和4年度新規就農者調査名簿）

注) 令和5年～14年の見通しは、2人×10年で推計。

### 2 農業就業者育成・確保施設の状況

施設の名称	施設の種類	施設の対象者	事業主体	設置年	対図番号
公益社団法人 角田市農業振興公社	就農支援施設 農業情報通信施設	農業者等	公益社団法人 角田市農業振興公社	平成12年 4月1日	108

## 第8 就業機会の現況及び見通し

### 1 農業従事者の就業の動向及び見通し—専兼業等別

単位:戸

	総計	販売農家				自給的農家
		合計	主業	準主業	副業	
平成 22 年 (10 年前)	2,559	1,914	190	495	1,229	645
平成 27 年 (5 年前)	2,152	1,511	202	288	1,021	641
令和 2 年 (現況)	1,646	1,034	134	146	754	612
令和 12 年 (10 年後)	1,338	841	109	119	613	497

資料：農林業センサス（平成 22 年、27 年、令和 2 年）令和 12 年は推計

### 2 農業従事者の就業の現況—他産業別

農業者の安定的就業機会を確保するため、市では 45 ha 規模の工業団地を整備してきた。これにより、農業従事者であった者が製造業をはじめ、建設業、サービス業など、幅広い職種に就業している。

一部の農業者は、自営業を行なながら農業を営んでいるほか、農業に重点を置いている農業従事者は、農閑期には日雇などの就労を行っている。

### 3 農村産業法等に基づく開発計画の概要

特になし

### 4 農業従事者に対する就業相談活動の現況

特になし

### 5 企業誘致及び企業誘致活動の現況

年 度	推進者	内 容
令和 2 年度	角田市	県内外企業へ企業誘致 PR 資料の配布等 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、企業立地セミナーは中止
令和 3 年度		宮城県企業立地セミナー参加等
令和 4 年度		

資料：角田市商工観光課（令和 4 年度）

## 第9 農村生活環境の現況及び見通し

### 1 農村生活環境整備事業等の実施状況

#### (1) 農村生活環境整備事業

事業種目	受益地区	受益戸数	事業費(千円)	主要工事又は主要施設名	事業主体	事業の着工完了年度	対図番号
農村総合整備モデル事業	市全戸	市全戸	1,981,100	ほ場整備 17.8 ha 排水路 L=6,800 m 農道 L=7,422 m 集落道 L=5,834 m 農村環境改善センター 1棟 農村公園 6箇所	角田市	S52～H8	109
農業集落排水事業	高倉	172	1,520,760	管路敷設 L=8,192 m	角田市	H6～H10	110
農業集落排水事業	金津	337	1,428,804	管路敷設 L=11,323 m	角田市	H11～H17	111

※農村環境改善センターはH26年度にスポーツ交流施設へ転用し、生涯学習課へ所管換え。

農村生活環境整備状況図 別添

### 2 農村生活環境整備の問題点

#### (1) 安全性

本市の消防体制は、2市7町で構成する仙南地域広域行政事務組合を組織し、広域消防による効率化を図っている。消防用施設については、消防施設強化促進法及び消防力の整備指針に基づき、整備に努めている。しかし、道路については、住宅密集地区で消防自動車の通行が容易でないところもあり、大事にいたることも予想されるため早急に対策を講じる。

阿武隈川の治水については、内水にかかる排水不良地区における排水事業の早期完成を推進して、水害のないまちづくりを進める。また、交通量の増加等により、交通事故の発生率が高まっていることから、歩行者、運転者に対し、交通安全指導を徹底し、市民1人1人の実践と交通安全施設の整備充実をもって事故根絶を図る。

#### (2) 保健性

本市の医療施設は、病院・歯科・一般診療所あわせて22施設あり、仙南地域における医療の中心都市となっている。しかし、小児科、産婦人科、耳鼻科等診療科がなくなっているものもあり、みやぎ県南中核病院等市外の医療機関での受診が必要となっている疾病等が多くなっている。今後も県や医師会との協力により、地域医療対策を強化するとともに、市外地への交通手段の確保対策を確保し、仙南医療圏内の連携による医療サービスの充実を図る。

上水道については現在、阿武隈川水系と仙南・仙塩広域水道用水供給事業の取組の一層の向上を図っていく。

下水道等排水処理については、衛生的な生活環境を保持するため、地域の排水溝や基幹排水路の整備を図る。現在、市街地及びその周辺流域には、公共下水道事業を実施しているほか、2か所の基幹集落には、農業集落排水施設を整備している。下水道整備区域及び農業集落排水事業区域以外については、生活水準の向上により汚水の排出量が増加傾向にあることから、合併処理浄化槽の普及を図り、排水の水質向上を図っている。

ごみ処理についても、仙南地域広域行政事務組合により運営されており、ごみの減量、分別化の周知と徹底、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の推進を図る。

### （3）利便性

本市の交通体系は、第3セクターの阿武隈急行線、国道113号及び349号、主要地方道亘理・大河原・川崎線をはじめとする8路線を骨格とし、これに市道が交差して構成しており、今後、これらの道路の整備を促進していく。

集会施設や運動施設については、地域の施設として要望する声が多く、農作業の合間等に手軽に会合を開いたり、スポーツ等の活動に参加できるよう望んでいることから、学校の体育館の利用など地域の実情に応じた施設の活用を行う。

保育所や幼稚園等については、ニーズに応じた施設整備をすることに努め、学童保育を含め働く家庭への支援や乳幼児および児童の健全な育成を図る。

### （4）快適性

本市の台山公園には、現在、多目的運動場や「宇宙」をテーマとした体験・学習施設として宇宙っ子テラス等がある。

阿武隈川沿いの角田中央公園には、総合体育館や陸上競技場、野球場、テニスコート、温水プール、交通公園などの運動施設や公園が整備され「かくだスポーツビレッジ」の愛称で、広く市民やスポーツ愛好者等が利用している。また、市街地中央には、角田中央広場や本町パークなどが整備され、都市の緑化と快適な市民生活を確保している。

### （5）文化性

本市の芸術・文化水準は、県南各市町村と比較しても遜色なく芸術・文化活動の先駆的役割を果たしているといつてよい。

市街地中央には、市民センターやかくだ田園ホール、図書館に加え、児童書に特化した子ども図書館が整備されている。これらの施設に加え、郷土資料館が整備され、文化、社会教育活動が活発に行われている。

文化活動の担い手として市民団体が組織されており、市民文化祭、芸能大会、広報誌の発行等の活動のほか、音楽をはじめとする芸術活動を行っており、これらの活動は市民センターやかくだ田園ホール等を利用して行われている。

## 第10 森林の整備、その他林業の振興との関連に関する現況及び見通し

### 1 林業の概況

本市の林野面積は、5,612 ha で総土地面積の約38%を占めている。これを所有形態別にみると、国有林82 ha (1.5%)、県有林1 ha (0.01%)、市有林74 ha (1.3%)、私有林5,455 ha (97.2%) となっている。(資料:令和4年度版みやぎの森林・林業のすがた)

林業の成熟度である人工林率は約46%と、県平均の47% (資料:令和4年度版みやぎの森林・林業のすがた)を若干下回った状態にある。人工林の齢級配置を見ると、間伐、保育等の手入れを必要とする7齢級以下の若齢林が約半数を占めている。(資料:角田市森林整備計画書)

これらの保育管理は、木材価格の長期低迷、林業就業者の高齢化等の問題により整備の立ち遅れも目立ったが、造林補助事業等によって除々に整備されてきた。

生産基盤の整備状況は、林道、作業道、市道あわせて18.5 kmが開設され、今後も林道、市道に接続する作業道を整備し、合理的、集約的な森林経営を進める必要がある。

特用林産物については、しいたけを中心に生産されてきたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災が起因となった福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散問題から、原木が使用できない状況となり生産が減少している。

林業経営状況は、14戸(70%)が5 ha未満の零細規模の農林業家 (資料:令和2年農林業センサス) であるとともに、後継者不足のため、経営近代化を図るには困難な状況にある。

### 2 農業振興と林業振興の関連に関する現状と問題点

本市の林業経営は、ほとんどが零細規模の農林業家であり、農閑期に森林の整備を行っている状況であり、農業振興と林業振興とは密接な関係にある。

農業振興の面から複合経営を推進しているが、かつてはその経営の一部門として、原木を有効活用した特用林産物、特にしいたけ栽培が取り入れられていた。しかし、前述の福島第一原子力発電所事故による放射性物質の拡散問題以降は、減少傾向にある。今後は、施設栽培などを推進し、生産指導体制の確立が望まれる。

令和元年度より、市町村と都道府県に対して「森林環境譲与税」が私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分し、市町村による森林整備の財源として譲与されている。この森林環境譲与税は、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に基づき譲与されるもので、市町村においては、間伐等の「森林の整備に関する施策」と人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林の整備の促進に関する施策」に充てることとされている。

今後、この森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づく森林の管理を行っていく。本市では、令和2年度から森林経営管理制度に係るアンケート調査業務及び経営管理意向調査業務を行い、所有者の意向を確認している。また、所有者から経営

管理の委託を受けたものについては、集積計画の策定・公告を行い、保育間伐及び搬出間伐などの森林整備を行っている。

### 3 林業の振興に関する諸計画の概要

#### ○角田市森林整備計画

本市の森林整備計画は令和3年3月に策定し、令和3年4月1日から令和13年3月31日までを計画期間として、造林、間伐及び保育に関する基本的事項、公益的機能別施行森林の整備に関する事項及び作業道路網の整備計画等を定めている。

## 第11 地域の諸問題の解決を図るための各種の協定、申合せ等の実施状況

### 1 協定制度の実施状況

協定、申合せ等のほとんどは、集落内排水路の土砂払い、農業用排水路等の除草、堀はらい、集会施設の管理等に関するものであり、集落毎の話し合いにより取り決めて実施されている。

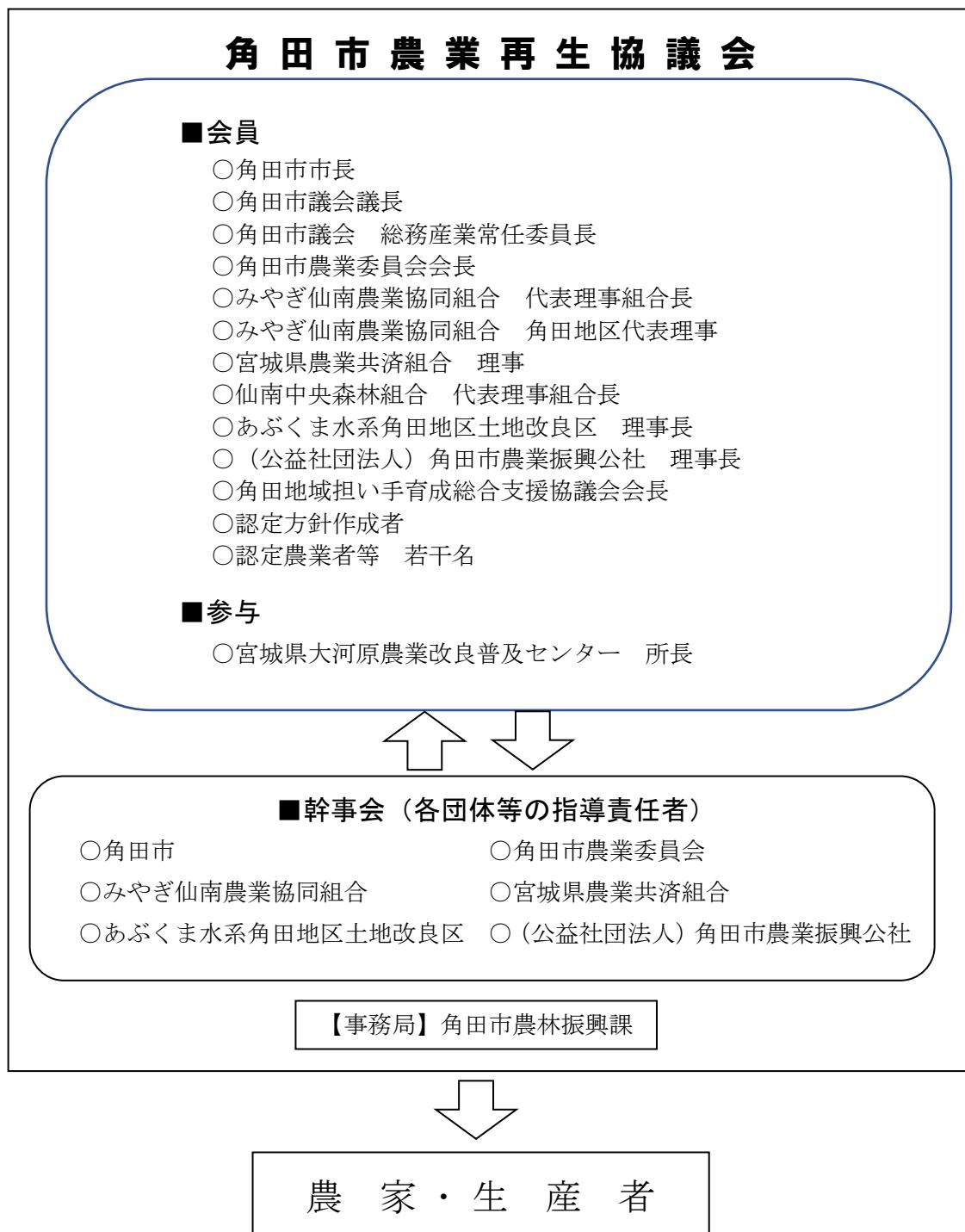
### 2 交換分合

特になし

## 第12 農業及び農村の振興及び整備のための推進体制等

### 1. 推進体制図

#### (1) 角田市農業再生協議会推進体制図



## 2. 市の財政状況

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
歳出合計 (A) 千円	13,447,894	15,569,494	21,740,198	18,370,846	17,286,808
農業関係費 (B) 千円	677,744	656,731	1,021,209	1,353,858	704,655
B/A (%)	5.1	4.2	4.7	7.4	4.1
財政力指数	0.51	0.52	0.52	0.50	0.50
実質収支比率 (%)	5.2	5.3	5.6	6.3	6.8
実質公債費比率 (%)	7.1	8.2	9.2	9.7	9.9
経常収支比率 (%)	103.0	105.2	98.8	90.7	99.7

資料：角田市財政課（令和 5 年度）